

本格ラベル印刷ソフト (FA-1100 Ver. 2.01)

Windows®対応

取扱説明書

- FA-1100は、様々な機種でご使用になれます。
 - ※ 接続できる機種については、10ページ「対応している機種」をご覧ください。
 - ※ 接続する機種によっては、ご使用になれない機能があります。
- FA-1100 Ver.2.01は、3.5mm～24mm幅のネームランド用テープカートリッジに対応しております。
 - ※ 実際に使用可能なテープの種類は、お使いになるネームランド／プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利は全てカシオ計算機株式会社に帰属します。

Microsoft®、Windows® は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Pentium®は米国インテル社の登録商標です。

True Type® は、Apple Computer,Inc.の米国および各国での登録商標です。

各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© Copyright 2002 CASIO COMPUTER CO.,LTD. All rights reserved.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本マニュアルやプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいませうお願い致します。また、本書はお読みになったあとも大切に保管してください。

本書に関するご注意

- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万が一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。
- 本書に記載の事例を利用したことによる金銭上の損害、または第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書は、この中に説明されているラベル印刷ソフトが完成する前に制作されます。このため、取扱説明書の制作終了後に行われたソフトウェア上の細部の変更、また画面の変更などに、一部対応しない部分が出る可能性があります。ご了承ください。

- FA-1100は、Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP上で動作するアプリケーションソフトウェアです。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

目次

この取扱説明書の読みかた	7
本書での説明について	7
本格ラベル印刷ソフトFA-1100のご紹介	9
本格ラベル印刷ソフトFA-1100について	9
対応している機種	10
FA-1100の操作の流れ	11
オンラインヘルプ機能について	12
FA-1100の基本的な操作	13
起動する	13
開く	13
新規保存する	14
上書き保存する	15
閉じる	15
終了する	15
レイアウト作成の流れ	16
接続機種を設定する	17
新しいレイアウトを作成する	18
レイアウト作成画面について	19
メニューバーについて	21
プルダウンメニュー	21
レイアウト画面のバーとグリッドについて	25
ツールバー	25
ステータスバー	29
グリッドの表示	30
キーを使った操作について	31
ショートカットキー	31
キーによるフィールドの移動	32
フィールドについて	33
4つのフィールド	33
共通の操作	35
文字を挿入する	37
文字を修正・編集・削除する	38
フィールド内の文字を修正する	38
フィールド内の文字を編集する	38
文字フィールドを削除する	39

よく使う文字を簡単に入力する	40
文字パネルへ登録する	40
パネルから文字を挿入する	42
文字パネルから文字を削除する	42
画像を挿入する	43
パネルから画像を挿入する	43
ファイル名を指定して画像を挿入する	44
パソコンの画面を取り込む(キャプチャ)	44
画像を差し替える・編集する	46
フィールド内の画像を差し替える	46
画像のサイズと角度を調整する	46
画像フィールドを削除する	46
画像を加工する・作成する	47
ペイントツールを起動する・終了する	47
ペイントツールのメニューバー	49
ペイントツールのツールバー	50
描画ツール	51
画像のモノクロ化を設定する	53
画像をパネルへ登録する・削除する	54
画像をパネルへ登録する	54
画像パネルから画像を削除する	54
図形を挿入する	56
図形を差し替える・編集する	57
フィールド内の図形を差し替える	57
フィールド内の図形を編集する	57
図形フィールドを削除する	58
バーコードを挿入する	59
バーコードの仕様	60
バーコードを修正・編集・削除する	62
フィールド内の文字や数字を修正する	62
バーコードのサイズや規格を編集する	62
バーコードフィールドを削除する	64
フィールドを配置する・サイズを合わせる	65
フィールドの配置・サイズ合わせとは	65
揃えるフィールドを選択する	66
フィールドを配置する・サイズ合わせをする	66
差込機能について	67
差込機能とは	67

操作の流れ	68
差込用データベースを作成する	69
差込データベースツールを起動する・終了する	69
差込データベースツールのメニューバー	70
差込データベースツールのツールバー	71
差込データベースを新規作成する	71
差込データベースを流用作成する	73
フィールドを差込設定する	75
差込内容を確認する	77
印刷するときの注意事項	78
印刷する	79
印刷する	79
差込印刷する	80
テープ送りをする・テープをカットする	81
内蔵画像ライブラリー一覧	82
数字フォント一覧	83
ラベル作成のヒント	84
縦書きラベルを作成するときは	84
フィールドを編集していろいろなラベルを作成するときは	84
テープカートリッジの幅以上のラベルを作成するときは	87
印刷時のトラブルについて	88
エラーメッセージ一覧	92
作成時のトラブルについて	93
ファンシーテープとクラフトシール	94
テープカートリッジをセットする	94
ラベルを作成する	97

この取扱説明書の読みかた

本書での説明について

■Windows自体の説明はしていません

本書は「FA-1100」(Windows版)の取扱説明書です。本ソフトは、Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP(以後Windowsと記述します)上で動作するアプリケーションソフトであり、本書では、Windowsそのものの操作については説明していません。

本書は、本ソフトをご使用になるお客様が、すくなくとも以下のようなWindowsの基本操作に習熟されていることを前提として書かれております。

- クリック、ダブルクリック、右クリック、ドラッグ、ドラッグ・アンド・ドロップなどのマウス操作
- マウスによるメニュー操作
- キーボードによる文字入力
- Windowsに共通のウィンドウ操作

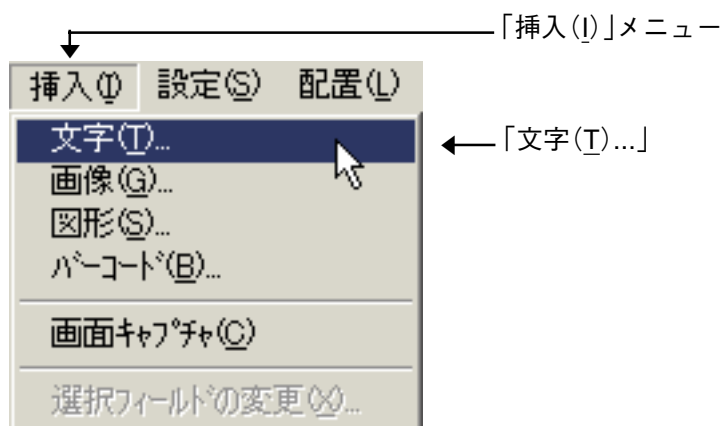
これらWindowsの基本的な操作に関しましては、お手持ちのパソコンまたはWindowsパッケージ付属の取扱説明書をご覧ください。

FA-1100には、操作中に操作方法や注意事項を画面上で確認できる「ヘルプ機能」がついています(12ページ「オンラインヘルプ機能について」)。「ヘルプ機能」も併せて、操作のご参考としてご活用ください。

■メニュー/ボタン操作の表記について

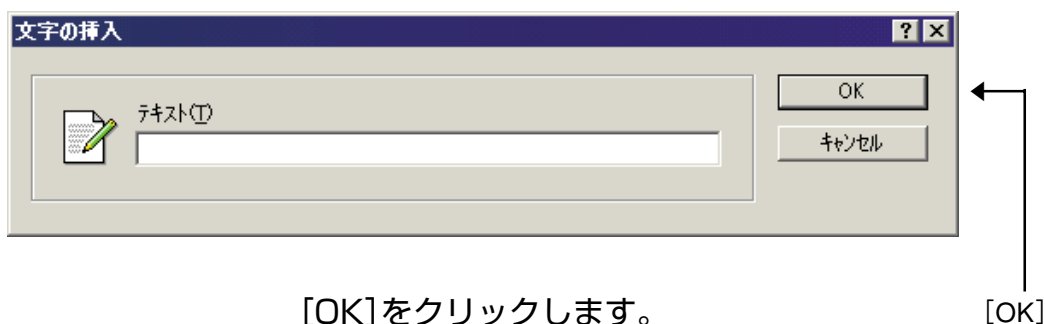
本書でのすべての操作は、マウスを使用することを前提としています。

- メニューあるいはコマンドの操作方法は、次のような形で表記しています。



「挿入 (I)」メニューから「文字 (T)...」をクリックします。

- ダイアログボックス中のボタンは次のような形で表記します。



[OK]をクリックします。

[OK]

■キー操作の表記について

本ソフトでは、マウスの操作とキーボードでのキー操作を併用することがあります。使用するキーには"Ctrlキー"、"Shiftキー"、"Altキー"があります。本書ではこれらのキーを [Ctrl] キー、[Shift] キー、[Alt] キーとそれぞれ表記します。これらのキーは、AやBといったアルファベットキーと併用される場合もあります。

■表示画面について

本書中で使用している表示画面は、実際の画面と若干異なる場合がありますが、表示内容そのものが異なるということはありません。あらかじめご了承ください。

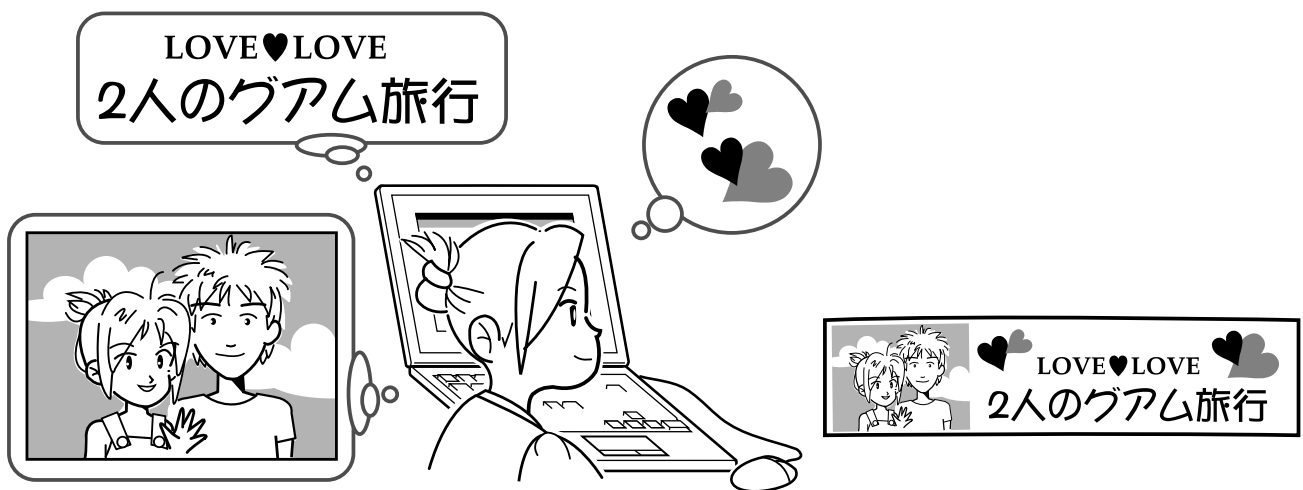
本格ラベル印刷ソフトFA-1100 のご紹介

FA-1100は、ラベルとして印刷する内容をパソコンで作成するソフトです。

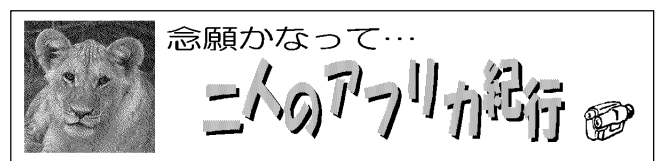
本格ラベル印刷ソフトFA-1100について

FA-1100を使うと、文字の形を変えたりイラストや図形を使ったりした、オリジナリティ溢れるシールを作成することができます。

※お使いの機種により、印刷できるテープ幅、印刷領域、解像度などが異なります。



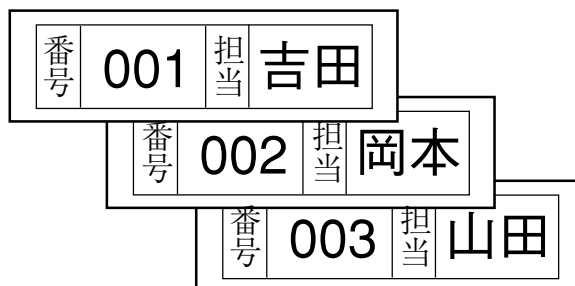
●複雑なデザインのラベルが作成できます。



- パソコンに搭載されているフォントを利用できます(True Type®フォントのみ)。
- イラストや画像も使用できます。
- パソコンに表示されている画面を取り込めます(44ページ「パソコンの画面を取り込む(キャプチャ)」)。

- デザインが同じで内容だけがちがうラベルを、簡単に作成できます。表形式のデータ (Microsoft® Excel形式のファイルなど) を使って連続して印刷することもできます (67ページ「差込機能について」)。

	備品番号	管理者
1	001	吉田
2	002	岡本
3	003	山田



- バーコードも作成できます (59ページ「バーコードを挿入する」)。



- 作成した内容は、ファイルとして保存しておくことができます (14ページ「新規保存する」)。
- ほかのアプリケーションで作成した画像 (拡張子が「.bmp」「.wmf」「.cam」「.tif」「.dib」「.emf」「.eps」「.fpx」「.jpg」「.pcd」「.pct」「.png」の画像) を印刷できます (43ページ「画像を挿入する」)。
- 簡単な図形を作成して印刷できます (56ページ「図形を挿入する」)。
- USB対応なので、いつでもパソコンと接続できます。

対応している機種

FA-1100 (Ver.2.01) は、次の機種で印刷することができます。

- KL-S30 • KL-E20 • EL-5000W • EL-700 • KL-A50E • KL-E11

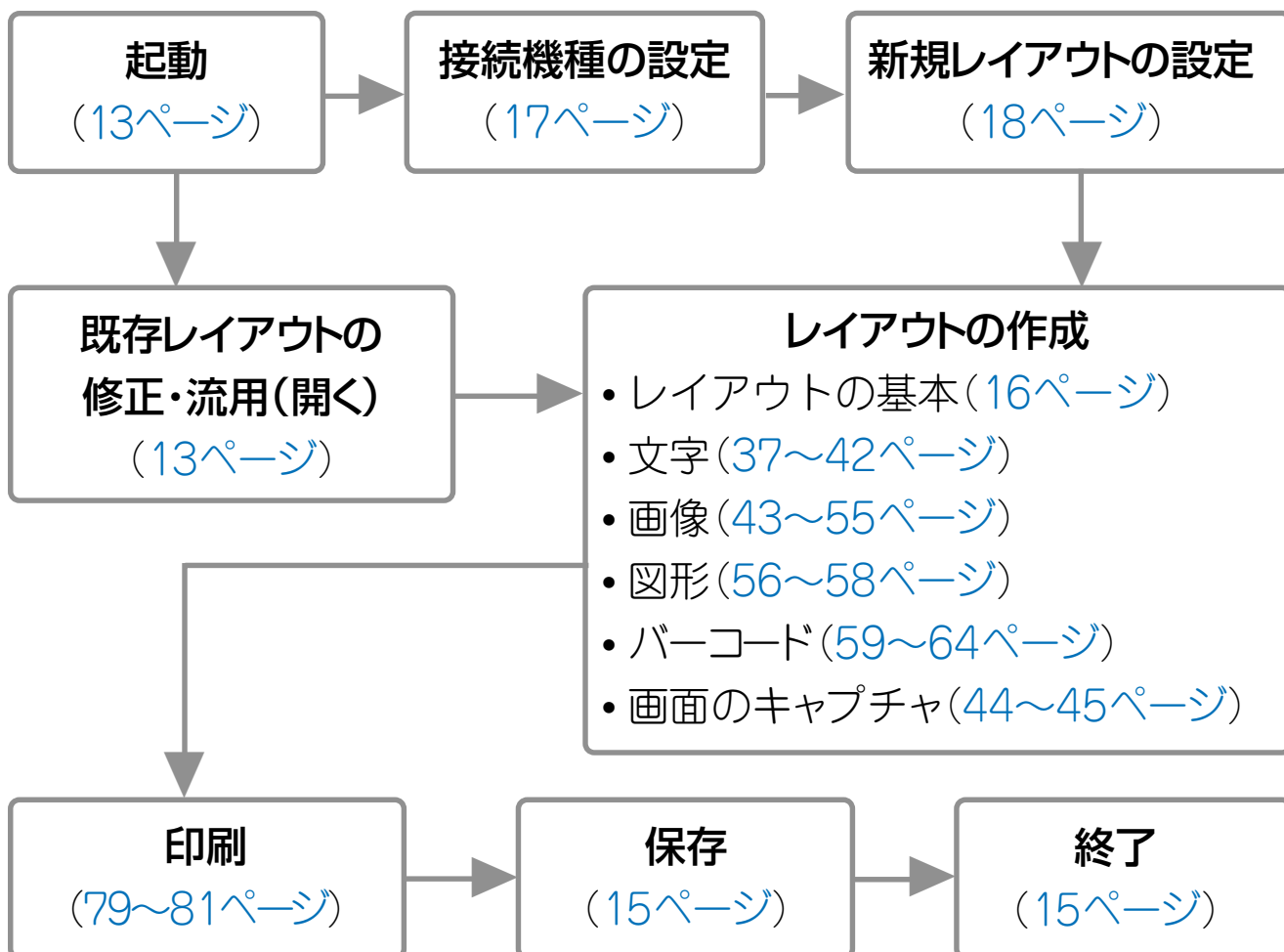
- ※ 上記の機種は、すべてカシオ計算機株式会社製です (2002年5月現在)。
- ※ 本書中では、「ネームランド」、「ネームランドPC」、「プリンタ」などと表記している場合があります。

FA-1100の操作の流れ

ここでは、FA-1100のラベルの内容を作成するときの全体的な操作の流れを理解してください(詳しい操作方法は、他のページで説明しています)。

ラベルにする内容をレイアウトといいます。

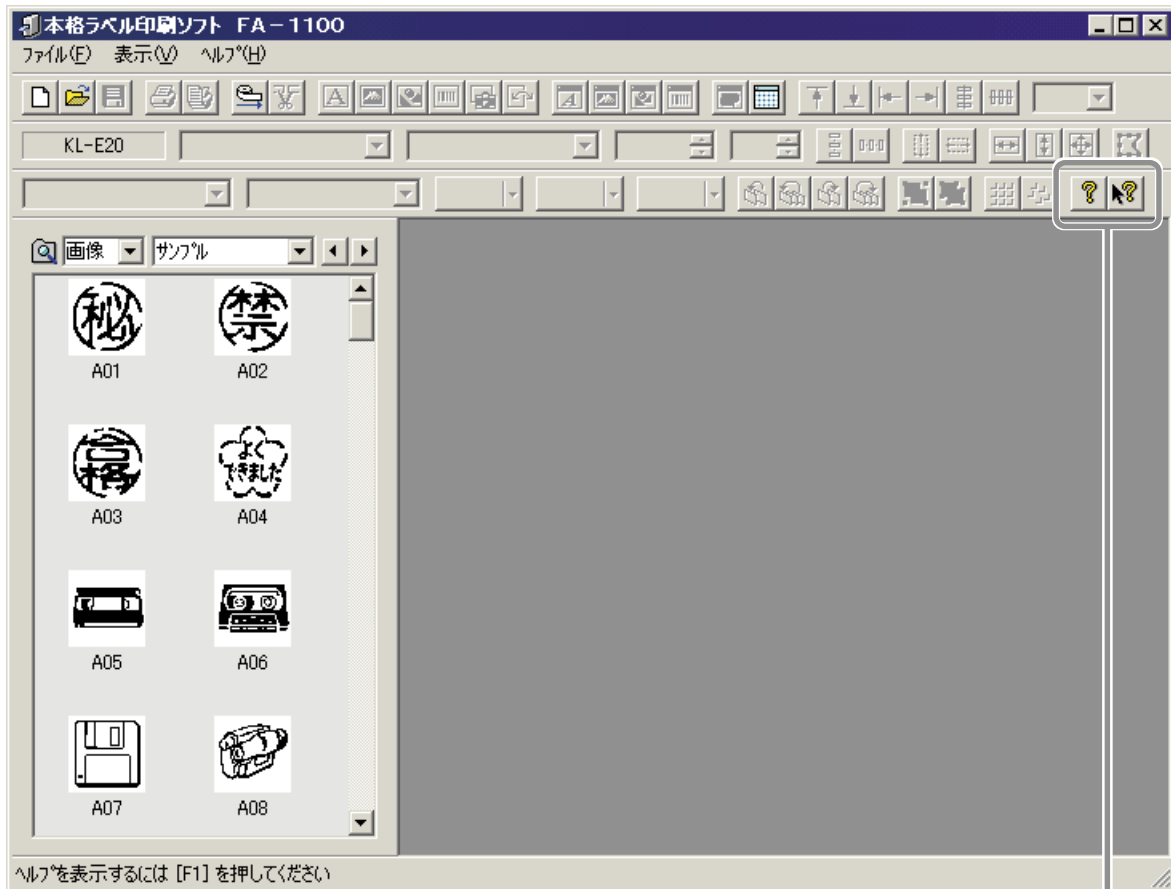
レイアウトは、文字・画像・図形・バーコードを自由に組み合わせて作成します。



オンラインヘルプ機能について

FA-1100には「オンラインヘルプ機能」がついています。

操作している途中に、画面上で操作方法や注意事項を確認できます。



ヘルプトピックを表示する。



ポップヒント(「メニューコマンド」や「画面の構成要素のヒント」)を表示する。

カシオのホームページへアクセスできます

パソコンがインターネットに接続できる環境にあるときは、FA-1100からカシオのホームページにアクセスして最新の情報を得ることができます。

「ヘルプ(H)」メニューから「カシオホームページ(C)」を選択する。



EZ-USB製品情報が掲載されているカシオのホームページが表示されます。

FA-1100の基本的な操作

FA-1100の「起動」「(既存レイアウトを)開く」「新規保存」「上書き保存」「(作成中のレイアウトを)閉じる」「終了」のしかたを説明します。

起動する

1 アイコンをダブルクリックする。

- 次のようにしても起動することができます。
 - (1) Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XPの[スタート]ボタンをクリックします。
 - (2) 「プログラム(P)」にポインタを合わせてから、「ネームランドPC印刷ソフト」にポインタを合わせます。
 - (3) 表示された「本格ラベル印刷ソフトFA-1100」をクリックします。
 - (4) 表示された「FA-1100」をクリックします。



起動画面

※ 起動後、初めてお使いになるときは、16ページ「レイアウト作成の流れ」をご覧ください。

開く

既存のレイアウト画面(ファイル)を開きます。

- FA-1100で作成したレイアウトの拡張子は「.LYC」です。

1 「ファイル(F)」メニューから「開く(O)...」をクリックするか、 アイコンをクリックする。

ファイルを選択できる画面が表示されます。

2 開きたいレイアウト名(ファイル名)をクリックして、[開く(O)]をクリックする。

選択したレイアウト画面が表示されます。

他のパソコンリンクソフトのファイルを開くときは

FA-1100は、パソコンリンクソフト「FA-700」「FA-720」「FA-750」「FA-770」「FA-775」「FA-1000C」「FA-1100C」で作成したファイルを活用することができます。

•FA-700/FA-720/FA-750/FA-770/FA-775で作成されたレイアウト(ファイル)を読み込んだ場合の制約

○文字データ：スタイルは標準、塗りつぶしパターンはベタ、レイアウトはストリート、背景は透過になります。

○画像データ：そのまま読み込まれます。(bmp, cam, tif, wmfデータ)

○図形・画像(上記の画像データを除く)・フレーム・背景用図形データ・差込データは配置できません。

•それぞれのソフトで作成したレイアウト(ファイル)の拡張子は、下記のとおりです。

FA-700： .LAY

FA-720・FA-750・FA-770・FA-775： .LYT

FA-1000C・FA-1100C： .LYC


•FA-1100及びFA-1000Cで作成したレイアウト(ファイル)は、FA-700・FA-720・FA-750・FA-770・FA-775では読み込みできません。

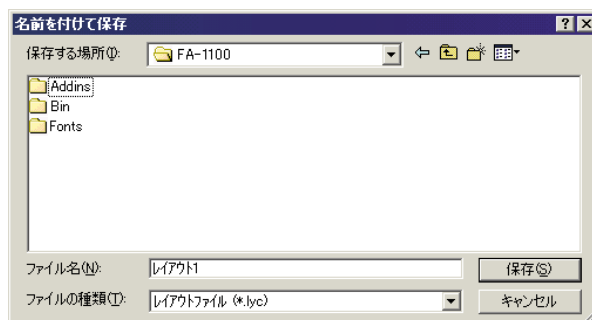
また、本ソフトで作成したファイルにバーコードフィールドが含まれる時にはバーコードフィールド部分は読み込まれません。

新規保存する

新規で作成したレイアウトを保存します。また、別名で保存したい場合もこの手順で行います。

1 「ファイル(F)」メニューから「名前を付けて保存(A)...」をクリックする。

重要 既存のレイアウトを開いているときに  をクリックすると、上書き保存されます。




2 レイアウト名(ファイル名)を入力する。

• 拡張子は「.LYC」となります。

3 入力内容を確認し[保存(S)]をクリックする。
中止する場合は[キャンセル]をクリックします。

上書き保存する

すでに保存してあるレイアウト画面を上書き保存します。

- 1 「ファイル(F)」メニューから「上書き保存(S)」をクリックするか、もしくは  アイコンをクリックする。
保存されます。

閉じる

- 1 「ファイル(F)」メニューから「閉じる(C)」をクリックする。
作成中のレイアウトが閉じます。
 - 作成中のレイアウトが保存されていないと、メッセージが表示されます。保存するかしないかを選択してください。

終了する

- 1 「ファイル(F)」メニューから「アプリケーションの終了(X)」をクリックする。
本ソフトが終了します。
 - 終了時に作成中のレイアウトが保存されていないと、メッセージが表示されます。保存するかしないかを選択してください。

レイアウト作成の流れ

レイアウトとは、ラベルにする内容のことです。ここでは、レイアウトを作成するときの流れを理解してください(詳しい操作方法は、他のページで説明しています)。

レイアウトのサイズ設定

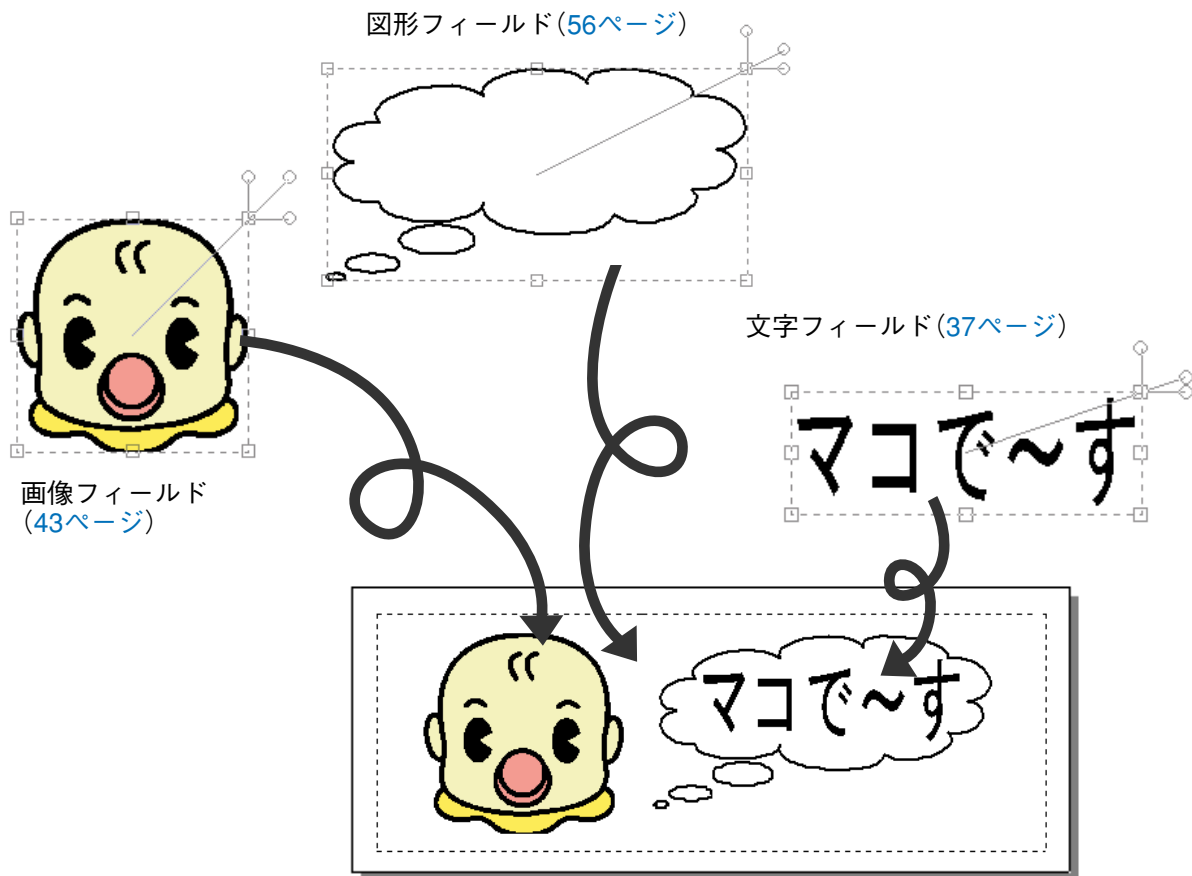
レイアウトの形とサイズは、印刷する機種に応じて設定できます。

- 17ページ「接続機種を設定する」
- 18ページ「新しいレイアウトを作成する」



レイアウトの作成

レイアウトは、フィールドと呼ばれるパーツを組み合わせて作成します。



レイアウト完成!

※バーコードフィールドもあります(59ページ)。

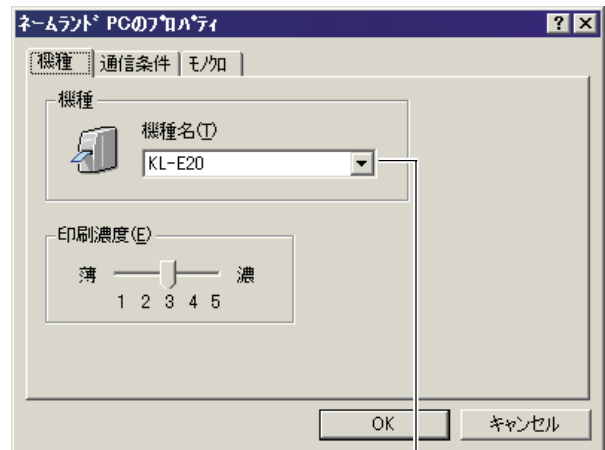
接続機種を設定する

FA-1100で作成したレイアウトを、どの機種で印刷するのか設定します。

重要

- 設定する機種によって、作成できるレイアウトのサイズは異なります。レイアウトの作成を始める前に必ず設定してください。
- 接続機種の設定は、起動画面(13ページ)が表示されているとき(レイアウトが1つも開かれていないとき)に行います(他の画面のときは行えません)。

1 「ファイル(F)」メニューから「接続機種の設定(R)...」をクリックする。



ここをクリックすると機種が設定できます

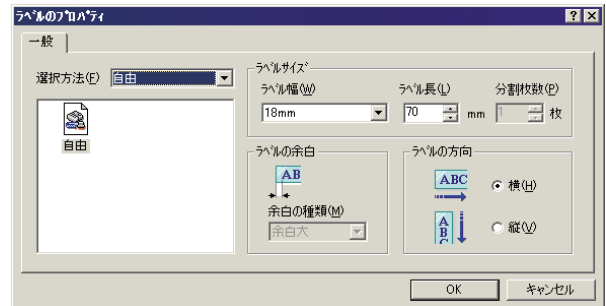
2 機種を設定する。

3 [OK]をクリックする。

新しいレイアウトを作成する

新しいレイアウトを作成する画面を開きます。

- 1 「ファイル(F)」メニューから「新規作成(N)...」をクリックする。




- 2 どのようなレイアウトにするのか、設定する。

- 3 [OK]をクリックする。

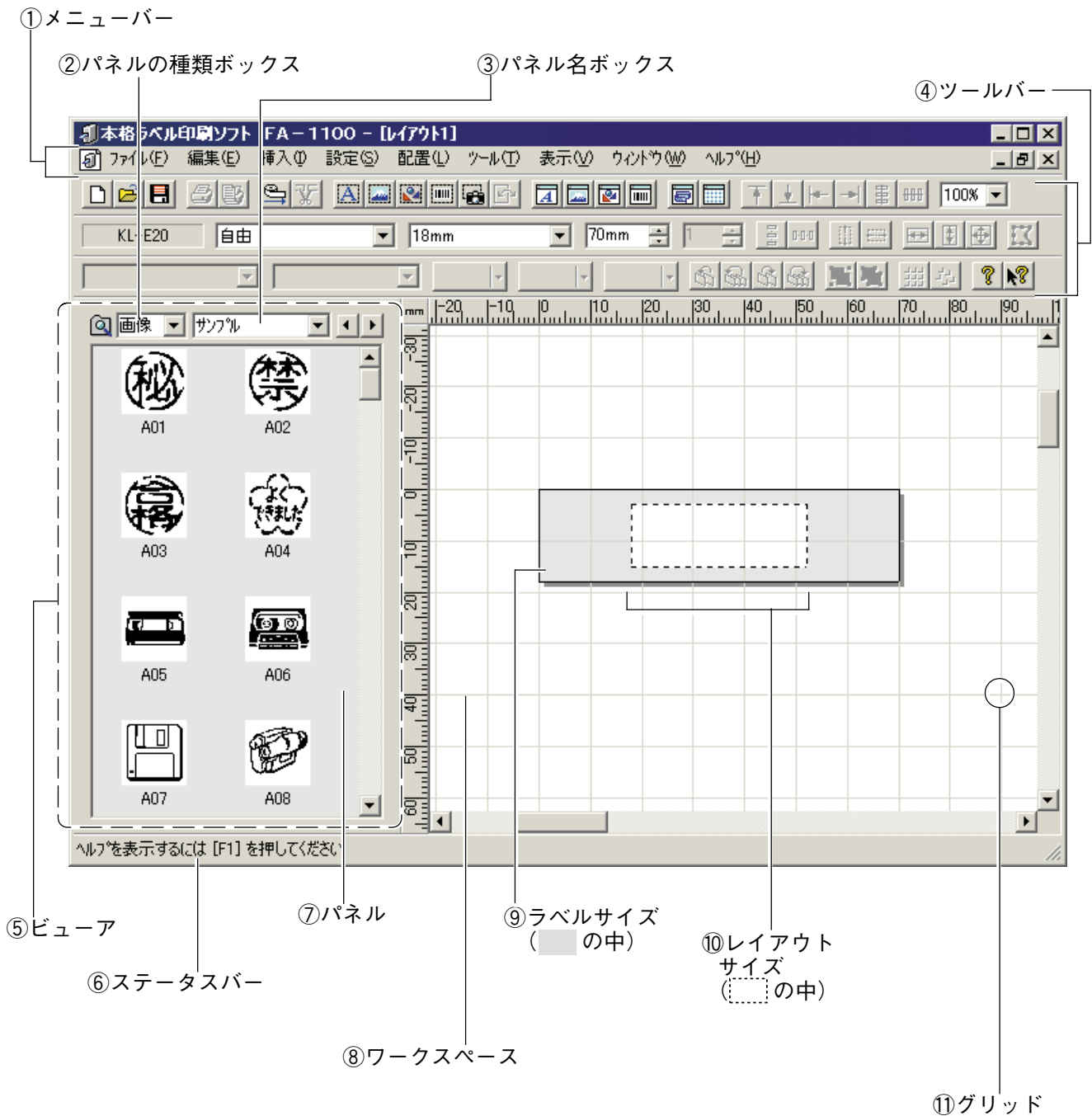
編集集中にレイアウトの設定を変更するには

下記のいずれかの方法で行ってください。

- 「設定(S)」メニューから「ラベル(L)...」をクリックして、各項目を設定します。
-  をクリックして、各項目を設定します。
- ツールバーに表示されている各項目を、直接、設定します(28ページ「[ツールバー\(設定項目\)](#)」)。

レイアウト作成画面について

レイアウト作成画面について説明します。



※ ビューアとワークスペースは、設定によって表示が異なることがあります。

①メニューバー

→21ページ「メニューバーについて」

②パネルの種類ボックス

パネルに表示されているフィールド種類が表示されます。

③パネル名ボックス

パネルに表示されているフィールドの分類が表示されます。

④ツールバー

→25ページ「ツールバー」

⑤ビューア

「パネルの種類ボックス」「パネル名ボックス」「パネル」の総称です。

⑥ステータスバー

簡単なヘルプメッセージや選択されているフィールドの情報を表示します。

→29ページ「ステータスバー」

⑦パネル

登録されているフィールドが表示されます。

→40ページ「文字パネルへ登録する」・43ページ「パネルから画像を挿入する」

・56ページ「図形を挿入する」

⑧ワークスペース

レイアウトを作成する領域です。

⑨ラベルサイズ

実際に作成されるラベルの大きさです。

⑩レイアウトサイズ

印刷可能範囲です。フィールドはこの中に収まるように配置してください。

⑪グリッド

ワークスペース上に一定間隔で並んだ格子です。フィールドのサイズや配置を決めるときの目安にすると便利です。

→30ページ「グリッドの表示」

メニューバーについて

メニューバーのプルダウンメニューについて説明します。

プルダウンメニュー

プルダウンメニューから、マウスで操作します。

■「ファイル(F)」メニュー

「新規作成(N)...」

新規レイアウト画面を作成する。

「開く(O)...」

レイアウト画面(ファイル)を開く。

「閉じる(C)」

編集中のレイアウト画面を閉じる。

「上書き保存(S)」

レイアウト画面を上書き保存する。

「名前を付けて保存(A)...」

レイアウト画面に新しく名前を付けて保存する。

「ネームランドPCで印刷(P)...」

編集中のレイアウトをネームランド印刷する。

「ネームランドPCで差込印刷(M)...」

編集したレイアウトに自動的にデータを差し込んで、ネームランド印刷する。

「テープフィード(F)」

テープ送りをする。

「テープカット(T)」

テープをカットする。

「印刷プレビュー(V)...」

編集中のレイアウトの印刷イメージを表示する。

「差込プレビュー(G)...」

編集中のレイアウト画面に実際に差込まれた状態を表示する。[OK]をクリックすると、その状態の文字が実際に差込まれる。

「接続機種の設定(R)...」

接続する機種などを設定する。

「1 XXXX.lyc」

以前に開いたレイアウト画面を開く。

「アプリケーションの終了(X)」

FA-1100を終了する。

■「編集(E)」メニュー

「元に戻す(U)」

直前の状態に戻す。

「やり直し(R)」

直前に元に戻した状態をやり直す。

「切り取り(T)」

選択された範囲のフィールドを切り取る。

「コピー(C)」

選択された範囲のフィールドをコピーする。

「貼り付け(P)」

コピー、カットしたフィールドを貼り付ける。

「削除(A)」

選択された範囲のフィールドを削除する。

「複製(D)」

選択された範囲のフィールドをもう1つ作成する。

「すべてを選択(L)」

レイアウト上のすべてのフィールドを選択する。

■「挿入(I)」メニュー

「文字(T) ...」

文字を挿入する。

「画像(G) ...」

画像を挿入する。

「図形(S) ...」

図形を挿入する。

「バーコード(B) ...」

バーコードを挿入する。

「画面キャプチャ(C)」

パソコンに表示されている画面を取り込む。

「選択フィールドの変更(X) ...」

選択されたフィールドの内容を変更する。

■「設定(S)」メニュー

「文字(T) ...」

文字のプロパティを設定する。

「画像(G) ...」

画像のプロパティを設定する。

「図形(S) ...」

図形のプロパティを設定する。

「バーコード(B) ...」

バーコードのプロパティを設定する。

「画面キャプチャ(C) ...」

画面キャプチャのプロパティを設定する。

「ラベル(L) ...」

ラベルやスタンプのプロパティを設定する。

「ワークスペース(W) ...」

ワークスペースのプロパティを設定する。

「図形変形(P)」

線分の区切り(ポイント)を表示し、図形を変形できる状態にする。

■「配置(L)」メニュー

「整列(A)」

次の6つのメニューを表示する。

-「上端に揃える(T)」

選択されたフィールドを上端に揃えて配置する。

-「下端に揃える(B)」

選択されたフィールドを下端に揃えて配置する。

-「左端に揃える(L)」

選択されたフィールドを左端に揃えて配置する。

-「右端に揃える(R)」

選択されたフィールドを右端に揃えて配置する。

-「縦積み(V)」

選択されたフィールドを垂直方向の中心線に位置合わせして整列する。

-「横並び(H)」

選択されたフィールドを水平方向の中心線に位置合わせして整列する。

「均等配置(V)」

次の2つのメニューを表示する。

-「垂直方向(V)」

選択されたフィールドを垂直方向に等間隔に配置する。

-「水平方向(H)」

選択されたフィールドを水平方向に等間隔に配置する。

「中央配置(C)」

次の2つのメニューを表示する。

-「垂直方向(V)」

選択されたフィールドを上下方向にセンタリングする。

-「水平方向(H)」

選択されたフィールドを左右方向にセンタリングする。

「サイズ合わせ(S)」

-「幅(W)」

-「高さ(H)」

-「幅と高さ(B)」

「前面へ移動(R)」

「最前面へ移動(F)」

「背面へ移動(K)」

「最背面へ移動(B)」

「グループ(G)」

「グループ解除(U)」

「タイル(T)」

「タイル解除(L)」

次の3つのメニューを表示する。

選択されたフィールドの幅を同じサイズに設定する。
選択されたフィールドの高さを同じサイズに設定する。

選択されたフィールドの幅と高さを同じサイズに設定する。

選択されたフィールドを、1つ前に移動する。

選択されたフィールドを、一番前に移動する。

選択されたフィールドを、1つ後ろに移動する。

選択されたフィールドを、一番後ろに移動する。

選択されたフィールドを、1つのグループにする。

選択されたグループを解除する。

選択されたフィールドをレイアウト上に背景としてマス目状に並べる。

タイルを解除する。

■「ツール(T)」メニュー

「ペイント(P)」

「差込データベース(D)」

専用の図形描画ツールを起動する。

差込印刷用のデータベースを作成する。

■「表示(V)」メニュー

「ツールバー(T)」

「ステータスバー(S)」

「ビューア(V)」

「ズーム(Z)」

-「400%」

-「200%」

-「100%」

-「75%」

-「50%」

ツールバーを表示/非表示にする。

ステータスバーを表示/非表示する。

ビューアを表示/非表示にする。

次の5つのメニューを表示する。

ワークスペースを400%で表示する。

ワークスペースを200%で表示する。

ワークスペースを等倍で表示する。

ワークスペースを75%で表示する。

ワークスペースを50%で表示する。

■「ウィンドウ(W)」メニュー

「重ねて表示(C)」

複数のレイアウト画面を開いているときに、レイアウト画面を重ねて表示する。

「上下に並べて表示(H)」

複数のレイアウト画面を開いているときに、上下に並べて表示する。

「左右に並べて表示(T)」

複数のレイアウト画面を開いているときに、左右に並べて表示する。

「アイコンの整列(A)」

ウィンドウの下部にアイコン化したレイアウト画面を整列する。

「すべてのウィンドウを閉じる(L)」

開いているすべてのウィンドウを閉じる。

「1 ××××.lyc」

現在開いているレイアウトを選択してアクティブ化する。

■「ヘルプ(H)」メニュー

「トピックの検索(H)」

トピックの検索画面を表示する。

「カシオホームページ(C)」

インターネット接続可能時は、カシオのホームページへアクセスする(12ページ)。

「バージョン情報(A)…」

バージョン情報を表示する。

レイアウト画面のバーとグリッドについて

レイアウト画面のツールバー・ステータスバー・グリッドについて説明します。

ツールバー

- ツールバーが表示されていないときは、「表示(V)」メニューから「ツールバー(T)」をクリックすると表示されます。
- ツールバーにポインタを合わせると、その機能の簡単な説明がステータスバーに表示されます。別な場所にポインタを移動すると、説明は消えます。

■ ツールバー(ツールアイコン)

ツールアイコンをクリックすると、それぞれの機能に応じて、ウィンドウが表示されたり操作が実行されたりします。



新規レイアウト画面を作成する。



レイアウト画面を開く。



レイアウト画面を保存する。



編集中のレイアウトを印刷する。



編集中のレイアウトの印刷イメージを表示する。



テープ送りをする。



テープをカットする。



文字フィールドを挿入する。



画像フィールドを挿入する。



図形フィールドを挿入する。



バーコードフィールドを挿入する。



表示されている画面を取り込んで(キャプチャして)、図形として挿入する。



選択されたフィールドの内容を変更する。



文字のプロパティを設定する。(84ページ「フィールドを編集していろいろなラベルを作成するときは」)



画像のプロパティを設定する。



図形のプロパティを設定する。



バーコードのプロパティを設定する。



ラベルのレイアウトのプロパティを設定する。



ワークスペースのプロパティを設定する。



選択されたフィールドを上端を揃えて配置する。



選択されたフィールドを下端を揃えて配置する。



選択されたフィールドを左端を揃えて配置する。



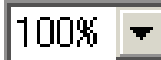
選択されたフィールドを右端を揃えて配置する。



選択されたフィールドを垂直方向の中心線に位置合わせして整列する。



選択されたフィールドを水平方向の中心線に位置合わせして整列する。



表示倍率を設定する。



選択されたフィールドを垂直方向に等間隔に配置する。



選択されたフィールドを水平方向に等間隔に配置する。



選択されたフィールドをテーブル内で上下方向の中心にセンタリングする。



選択されたフィールドをテーブル内で左右方向にセンタリングする。



選択されたフィールドの幅を同じサイズに設定する。



選択されたフィールドの高さを同じサイズに設定する。



選択されたフィールドの幅と高さを同じサイズに設定する。



線分のポイント(区切り)を表示し、図形を変形できる状態にする。



選択されたフィールドを1つ前に移動する。



選択されたフィールドを1番前に移動する。



選択されたフィールドを背面へ移動する。



選択されたフィールドを1番後ろに移動する。



選択されたフィールドを1つのグループにする。



選択されたグループを解除する。



選択されたフィールドをレイアウト上に背景としてマス目状に並べる。



マス目状に並べたフィールドを元に戻す。



ヘルプトピックを表示する。

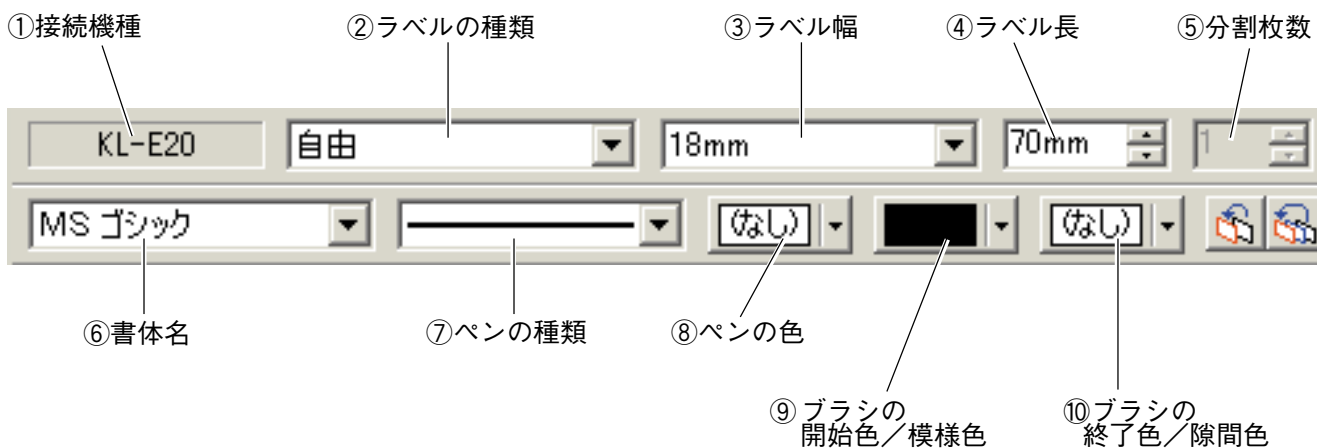


ポップヒント(「メニューコマンド」や「画面の構成要素のヒント」)を表示する。

■ ツールバー(設定項目)

設定項目をクリックすると、それぞれの項目を変更できます。

- 接続機種を変更するときは、17ページ「[接続機種を設定する](#)」をご覧ください。
- レイアウトによっては、設定を変更できない項目もあります。

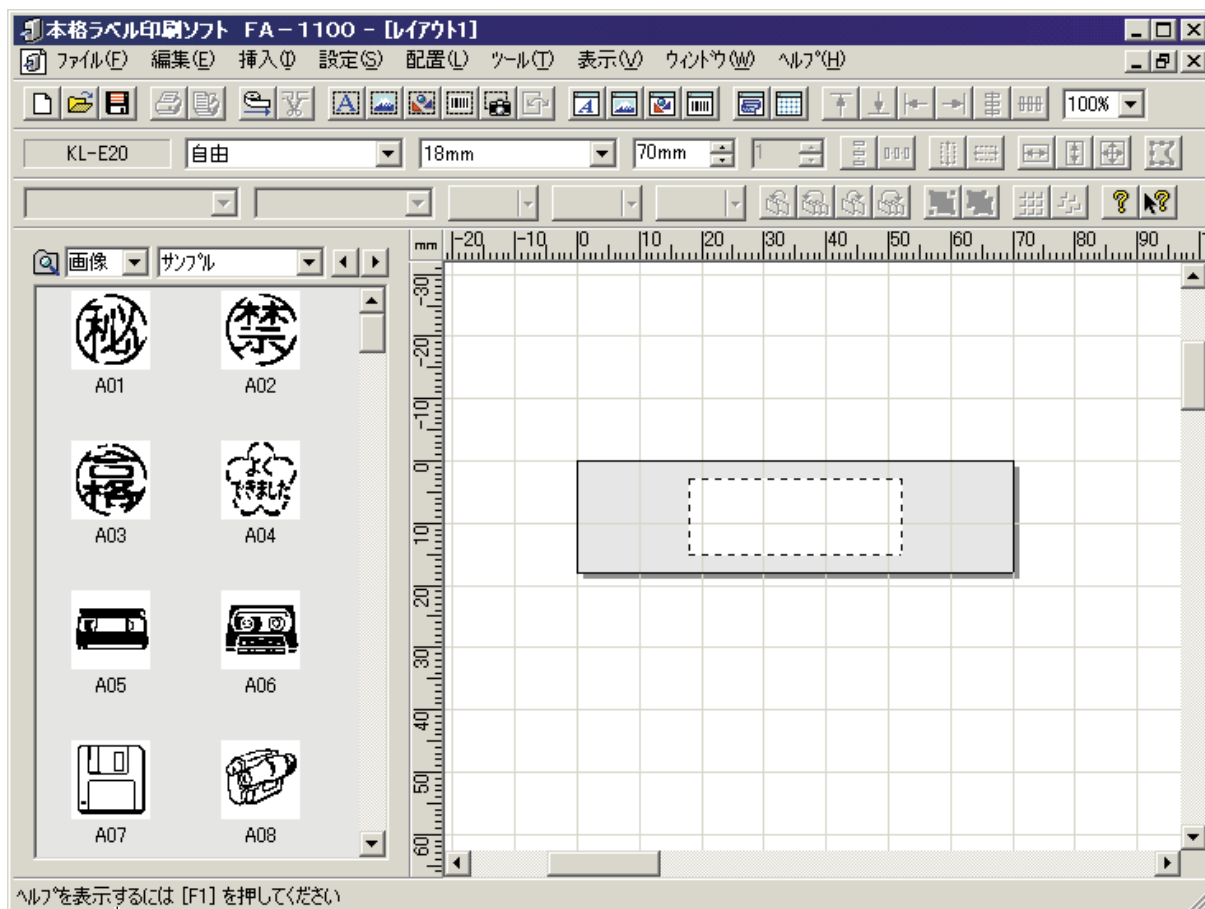


- | | |
|---------------|---|
| ① 接続機種 | 機種名が表示される。(17ページ「 接続機種を設定する 」) |
| ② ラベルの種類 | ラベルの種類を設定する。 |
| ③ ラベル幅 | ラベルの幅を設定する。 |
| ④ ラベル長 | ラベルの長さを設定する。 |
| ⑤ 分割枚数 | 何枚のラベルを組み合わせるのか1つのレイアウトにするのかを設定する。 |
| ⑥ 書体名 | 文字フィールドのフィールドの書体を設定する。 |
| ⑦ ペンの種類 | 図形の線の種類、文字の縁の線の種類を設定する。 |
| ⑧ ペンの色 | 図形、文字の線の色を設定する。 |
| ⑨ ブラシの開始色/模様色 | 図形、文字にグラデーションをかけるとき、開始する色を設定する。/ 図形の模様を指定したときの模様色を設定する。 |
| ⑩ ブラシの終了色/隙間色 | 図形、文字にグラデーションをかけるとき、終了する色を設定する。/ 図形の模様を指定したときの隙間色を設定する。 |

ステータスバー

メニューの簡単なヘルプメッセージや選択されているフィールドの情報を表示します。


- ステータスバーの表示/非表示は「表示(V)」メニューの「ステータスバー(S)」をクリックして行います。

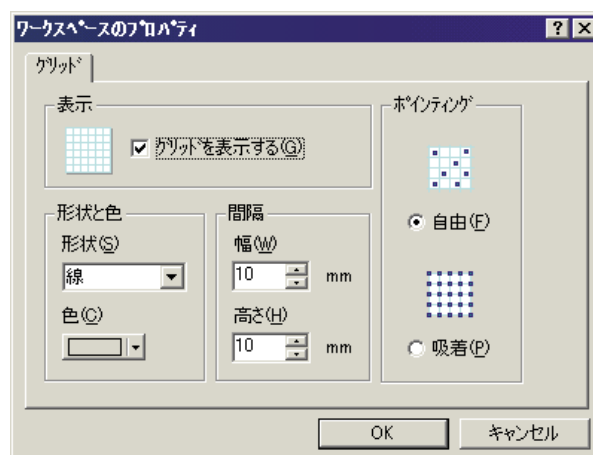


——ステータスバー

グリッドの表示

ワークスペース上に、一定間隔で並んだ格子をグリッドといいます。
グリッドは、間隔を変えたり非表示にしたりできます。

- 1 「設定(S)」メニューから「ワークスペース(W)...」をクリックするか、をクリックする。



- 2 各項目を設定する。
- 3 [OK]をクリックする。

キーを使った操作について

キーボードから操作できることを説明します。

- このページでは、2つのキーを同時に押すことを「+」で表現しています。
例： [Ctrl]キーと[A]キーをいっしょに押すとき
→「[Ctrl]+[A]キー」と表現しています。

ショートカットキー

キーボードから、ショートカットキーで操作します。

[Delete]キー	選択されたフィールドを削除する。
[Ctrl]+[A]キー	レイアウト上のすべてのフィールドを選択する。
[Ctrl]+[D]キー	選択された範囲やフィールドをもう1つ作成する。
[Ctrl]+[N]キー	新規レイアウト画面を作成する。
[Ctrl]+[O]キー	レイアウト画面を開く。
[Ctrl]+[P]キー	編集集中のレイアウトを印刷する。
[Ctrl]+[S]キー	レイアウト画面を上書き保存する。
[Ctrl]+[X]キー	選択されたフィールドをカットする。
[Ctrl]+[C]キー	選択されたフィールドをコピーする。
[Ctrl]+[V]キー	コピー、カットしたフィールドを貼り付ける。
[Ctrl]+[Z]キー	直前の状態に戻す。

キーによるフィールドの移動

キー操作でフィールドを移動することができます。

- フィールドを選択するときは、そのフィールドをクリックします。

[↑]キー	選択されたフィールドを、上方向へ細かく移動する。
[↓]キー	選択されたフィールドを、下方向へ細かく移動する。
[←]キー	選択されたフィールドを、左方向へ細かく移動する。
[→]キー	選択されたフィールドを、右方向へ細かく移動する。
[Ctrl]+[↑]キー	選択されたフィールドを上方向へ移動する。
[Ctrl]+[↓]キー	選択されたフィールドを下方向へ移動する。
[Ctrl]+[←]キー	選択されたフィールドを左方向へ移動する。
[Ctrl]+[→]キー	選択されたフィールドを右方向へ移動する。
[Tab]キー	次のフィールドを選択する。
[Shift]+[Tab]キー	前のフィールドを選択する。
[Home]キー	選択されたフィールドをレイアウトの左のすみまで移動する。
[End]キー	選択されたフィールドをレイアウトの右のすみまで移動する。
[Ctrl]+[Home]キー	選択されたフィールドをレイアウトの左上のすみまで移動する。
[Ctrl]+[End]キー	選択されたフィールドをレイアウトの右下のすみまで移動する。

フィールドについて

レイアウトを構成するパーツのことを、**フィールド**といいます。
ここでは、各フィールドの特徴と、フィールドに共通の操作を説明します。

重要 フィールドは、レイアウトサイズ内に収まるように配置してください。収まらない部分は、印刷されません(16ページ「レイアウトのサイズ設定」)。

4つのフィールド

■フィールドの種類

文字・画像・図形・バーコードを挿入すると、それらは「文字フィールド」「画像フィールド」「図形フィールド」「バーコードフィールド」に囲まれてレイアウトに挿入されます。

文字フィールド：入力した文字を囲むフィールドです。

画像フィールド：画像を囲むフィールドです。

図形フィールド：図形を囲むフィールドです。

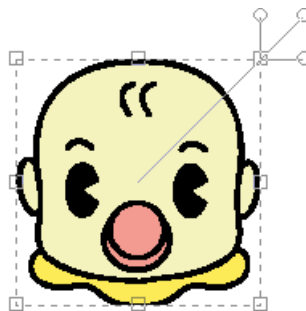
バーコードフィールド：バーコードを囲むフィールドです。

フィールドは、選択すると、下記のように薄いグレーの四角形で表現されます。この四角形は、実際には印刷されません。

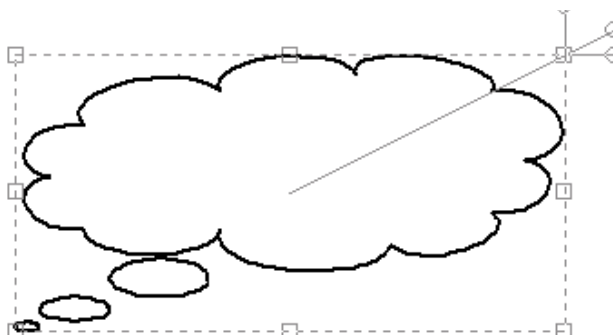
文字フィールド



画像フィールド



図形フィールド



バーコードフィールド



■画像と図形の違いについて

本ソフトでは、「画像」と「図形」を次のように区分しています。

画像：ペイント系のソフトで描かれたイラストや、デジタルカメラやホームページなどから取り込んだ画像データなどのことです。

本ソフトにあらかじめ登録されている画像の他に、ご自分で用意した画像やパソコンで表示している画面も取り込むことができます。

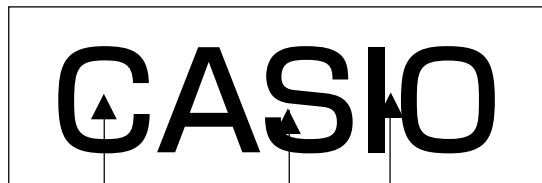
図形：四角形や星印、矢印など、よく使う図形のものです。本ソフトにあらかじめ登録されています。

■フィールドの選択について

文字フィールド：文字の上をクリックしてください。



文字フィールドを選択できる



文字フィールドを選択できない

画像／図形／バーコードフィールド：フィールド内をクリックしてください。

共通の操作

4つのフィールドで共通の操作を説明します。

フィールドの移動

フィールドをドラッグします。

フィールドの削除

フィールドを選択してから、[Delete]キーを押します。

フィールド内の文字・画像・図形・バーコードの修正・差し替え

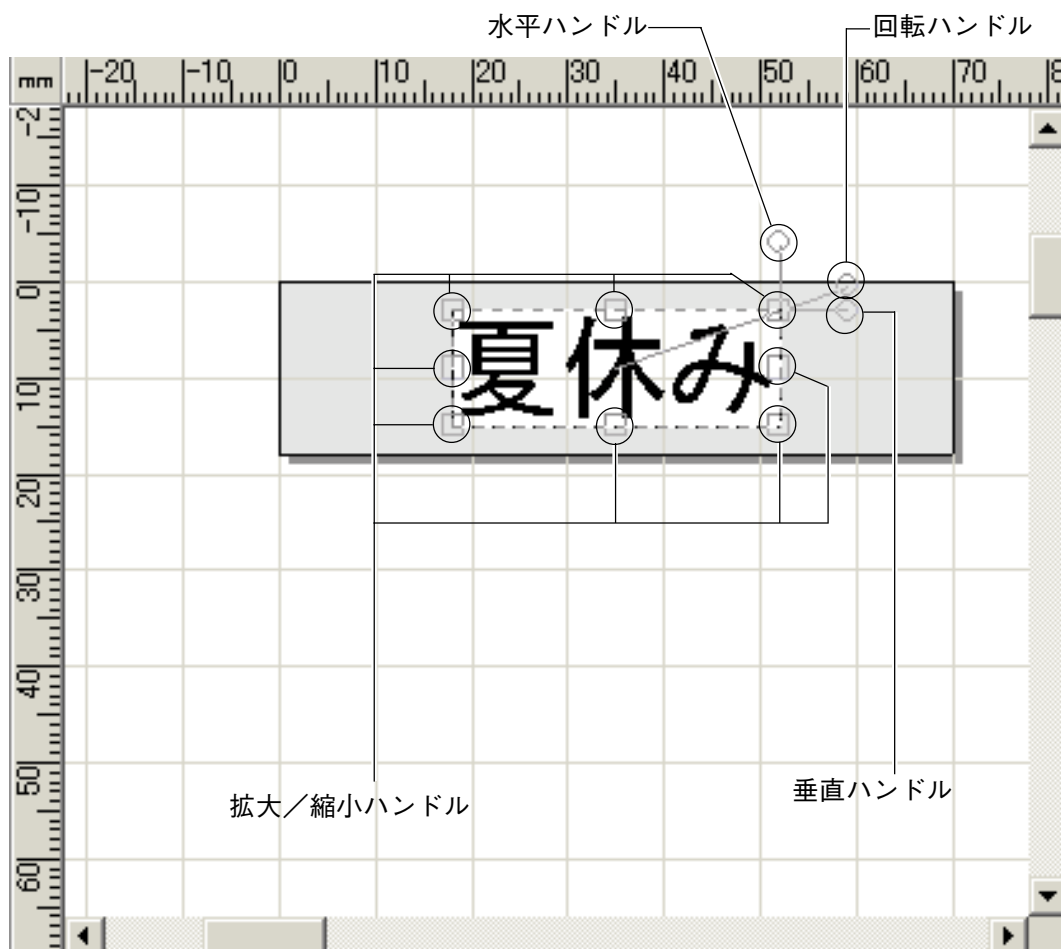
フィールドをダブルクリックすると、修正・差し替えする画面が表示されます。

パネルからの挿入(バーコードフィールドはできません)

パネルに表示されている文字・画像・図形をワークスペースにドラッグすると、フィールドに囲まれて挿入されます。

フィールドの形・サイズの調整

フィールドの形・サイズを調整すると、フィールドの形に合わせて、フィールド内の文字・画像・図形・バーコードの形やサイズも調整されます。



- 拡大/縮小ハンドルをドラッグすると、フィールドのサイズを調整できます。
- 回転ハンドルをドラッグすると、フィールドの角度を調整できます。
- 水平ハンドルをドラッグすると、フィールドが水平方向に斜めになります。
- 垂直ハンドルをドラッグすると、フィールドが垂直方向に斜めになります。




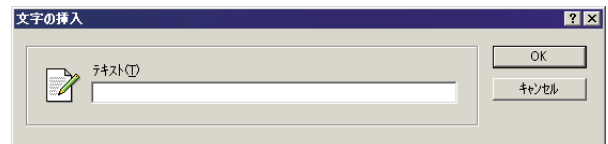
バーコードフィールドは、垂直方向の拡大/縮小以外は行えません。

文字を挿入する

レイアウトに文字を入れる方法を説明します。

レイアウト画面が表示されていることを確認してください(19ページ「レイアウト作成画面について」)。

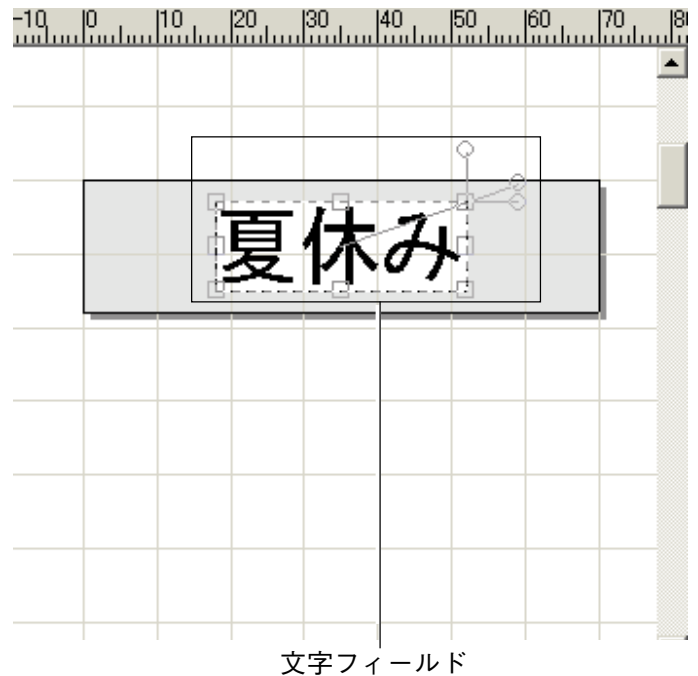
- 1 「挿入(I)」メニューから「文字(T) ...」をクリックするか、もしくは  アイコンをクリックする。



- 2 文字列を入力する。

重要 → 文字列に入力可能な文字数は全角で127文字、半角で255文字です。

- 3 [OK]をクリックする。
入力した文字は、文字フィールドに囲まれて、レイアウトに挿入されます。




文字を修正・編集・削除する

文字フィールド内の文字の修正のしかたと、文字フィールドの編集・サイズと角度の調整・削除のしかたを説明します(33ページ「フィールドについて」)。


フィールド内の文字を修正する

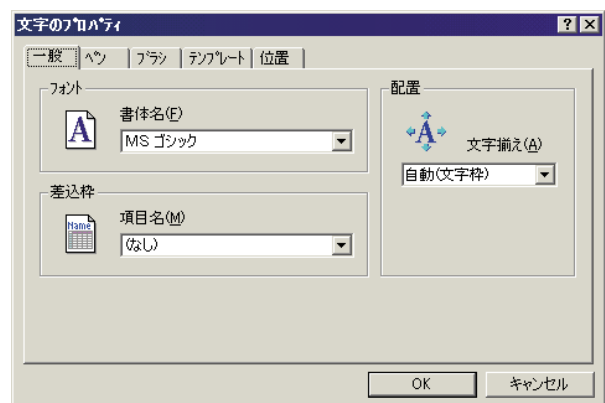
文字フィールド内の文字を、入力しなおすことができます。

- 1 文字の上をダブルクリックするか、をクリックする。
「文字の挿入」画面が表示されます。
- 2 文字を入力しなおす。
- 3 [OK]をクリックする。

フィールド内の文字を編集する

挿入した文字のフォントを変えたり、文字列の形を変えたりすることができます。編集は、フィールド内のすべての文字が対象となります。

- 1 編集する文字の上をクリックする。
 - 文字フィールドをクリックしないで編集を行うと、設定した内容は、これ以降に挿入するすべての文字フィールドに反映されます。
- 2 「設定(S)」メニューから「文字(T)...」をクリックするか、をクリックする。



3 各項目を設定する。

4 [OK]をクリックする。

■文字のサイズと角度を調整する

文字フィールドのサイズや角度を調整すると、フィールド内の文字のサイズや角度を調整することができます(35ページ「共通の操作」)。

文字フィールドを削除する

1 削除したい文字の上をクリックする。

2 [Delete]キーを押す。
文字フィールドが削除されます。

よく使う文字を簡単に入力する

文字を文字パネルに登録しておけば、何度も繰り返し使うことができます。

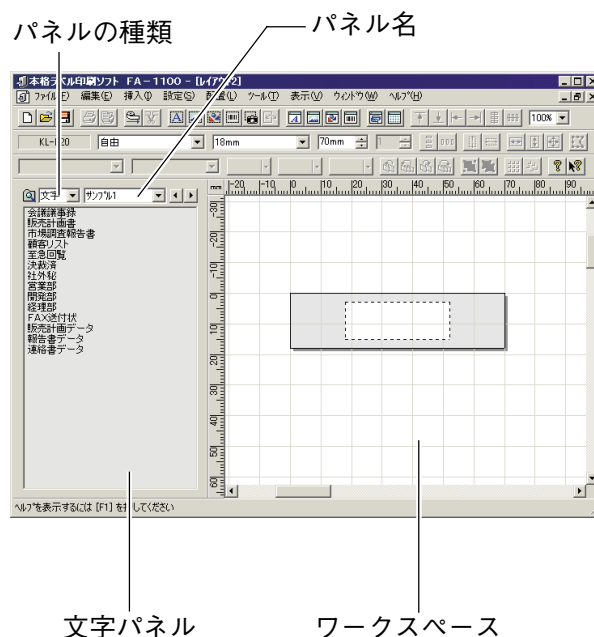
ここでは、「文字パネルへの文字の登録」「文字パネルからの文字の挿入」「文字パネルからの文字の削除」について、説明します。

よく使う文字は、文字パネルに登録することができます。また、登録した文字は、ドラッグするだけでレイアウトに挿入できます。

文字パネルへ登録する

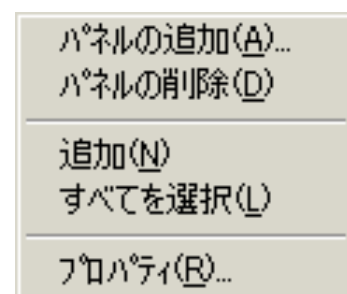
■ポップアップメニューから文字を登録する

1 「パネルの種類」を「文字」にする。

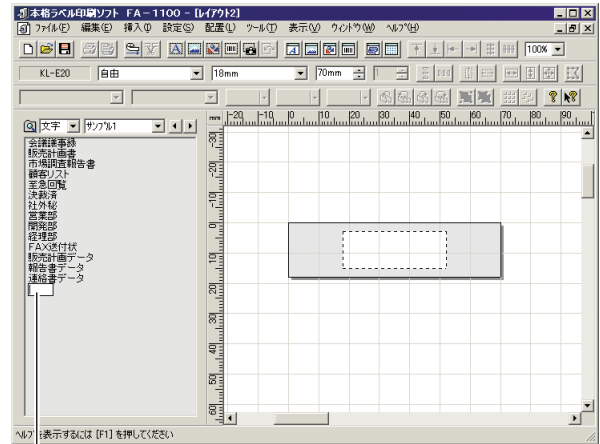


2 「パネル名」を選ぶ。

3 文字パネルの上で右クリックする。
ポップアップメニューが表示されます。



4 「追加(N)」をクリックする。



文字入力ボックス

5 文字を入力する。 文字入力ボックスに、表示されます。

6 [Enter]キーを押す。 パネルに、入力した文字が表示されます。

■ワークスペース上から文字を登録する

パネルに登録する文字を、あらかじめワークスペース上に挿入しておいてください。

1 「パネルの種類」を「文字」にする。 文字パネルが表示されます。

2 「パネル名」を選んで、文字を登録するパネルを表示する。 表示されたパネルに、文字は登録されます。

3 登録する文字を、[Alt]キーを押した状態でワークスペース上から文字パネルまでドラッグする。 ドラッグした文字が文字パネルに表示されて、登録されたことを示します。

パネルから文字を挿入する

- 1 「パネルの種類」を「文字」にする。
文字パネルが表示されます。
- 2 「パネル名」を選ぶ。
- 3 挿入する文字を、ワークスペースの上にドラッグする。
文字フィールドに囲まれて、文字が挿入されます。

文字パネルから文字を削除する

- 1 「パネルの種類」を「文字」にする。
文字パネルが表示されます。
- 2 「パネル名」を選ぶ。
- 3 削除する文字を右クリックする。
ポップアップメニューが表示されます。
- 4 [削除(A)]をクリックする。

画像を挿入する

本ソフトには、イラスト(画像)があらかじめ登録されています。これらの画像や、ご自分で作成した画像などを、レイアウトに挿入することができます。また、パソコンの画面上の画像を取り込む(キャプチャする)こともできます。

画像を挿入する方法には、3つあります。

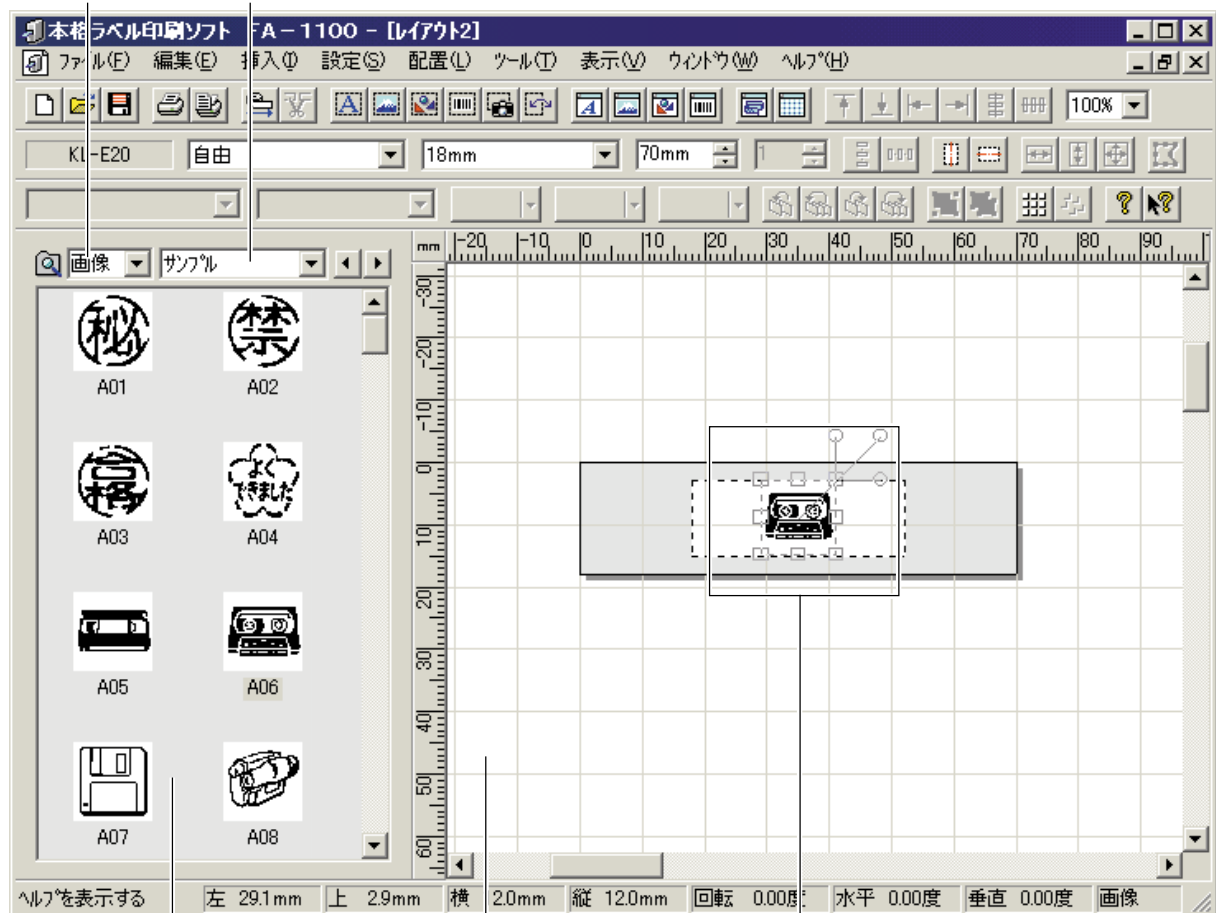
- パネルから画像を挿入する
- ファイル名を指定して画像を挿入する
- パソコンの画面を取り込む(キャプチャ)

パネルから画像を挿入する

ご自分で作成した画像をパネルに表示させることもできます(詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください)。

1 「パネルの種類」を「画像」にする。

パネルの種類 パネル名



画像パネル


ワークスペース

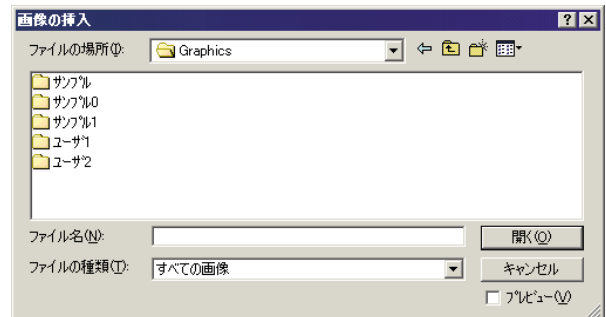
画像フィールド

- 2 「パネル名」を変更して、挿入する画像を表示させる。
パネル名を変更すると、パネルに表示される画像が変更されます。
- 3 挿入する画像を、ワークスペースにドラッグする。
ドラッグした画像は、画像フィールドに囲まれて挿入されます。

ファイル名を指定して画像を挿入する

重要 挿入することができる画像は、下記のファイル形式のものです。
BMP、dIB、WMF、CAM、JPEG、EMF、EPS、TIFF、
Flash Pix(FPX)、Photo CD(PCD)、PICT、PNG
※TIFF形式の中には、一部対応していないものがあります。
※CAM形式の「320×240ドット」サイズには対応していません。
詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。


- 1 「挿入(I)」メニューから「画像(G)...」をクリックするか、をクリックする。



- 2 挿入する画像のファイル名を設定する。
- 3 [開く(O)]をクリックする。
指定した画像は、画像フィールドとして挿入されます。

パソコンの画面を取り込む(キャプチャ)

パソコンに表示されている画面を取り込んで、画像データとして利用することができます。

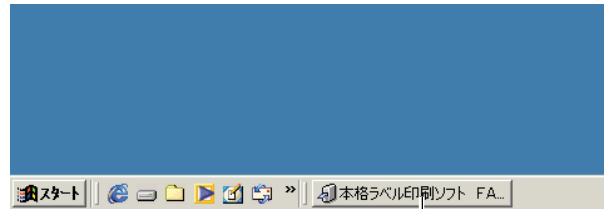
- 1 FA-1100のタイトルバーのをクリックする。
FA-1100が最小化されます。

ここをクリック



2 取り込みたい画面を表示する。

3 Windowsのタスクバーの「FA-1100」をクリックする。 FA-1100が元のサイズに戻ります。



ここをクリック

4 をクリックする。

FA-1100が最小化されます。

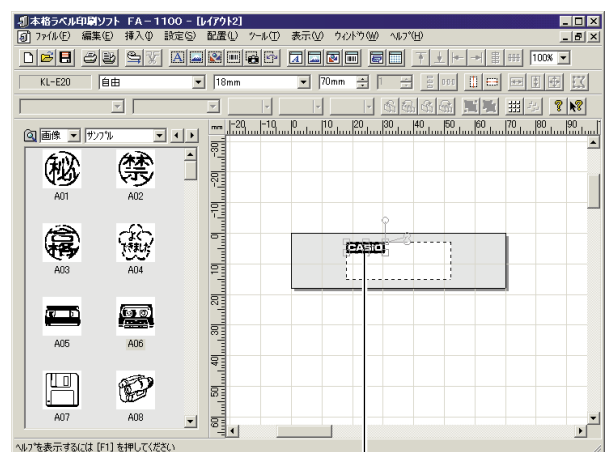
- キャプチャを取り消すときは、[Esc]キーを押します。

5 取り込みたい範囲の左上から右下までをドラッグする。

ドラッグした範囲が四角で囲まれます。



レイアウトサイズに相当する範囲が、ガイドラインとして表示されます。



ドラッグした範囲が、ラベルに取り込まれます。


- キャプチャした範囲は、画像データとして取り込まれます。
- ガイドラインを越えた範囲までドラッグしたときは、キャプチャ後に、通常の画像と同じようにしてサイズを変更してください。

画像を差し替える・編集する

画像の差し替えのしかたと、画像フィールドのサイズと角度の調整・削除のしかたを説明します(33ページ「フィールドについて」)。

フィールド内の画像を差し替える

画像フィールド内の画像を、別の画像に差し替えることができます。

- 1 画像フィールドをダブルクリックするか、をクリックする。
「画像の挿入」画面が表示されます。
- 2 挿入する画像のファイル名を設定する。
- 3 [開く(O)]をクリックする。

画像のサイズと角度を調整する

画像フィールドのサイズや角度を調整すると、フィールド内の画像のサイズや角度を調整することができます(35ページ「共通の操作」)。

画像フィールドを削除する

- 1 削除したい画像フィールドをクリックする。
- 2 [Delete]キーを押す。
画像フィールドが削除されます。

画像を加工する・作成する

画像フィールド内の画像に、線や文字などを描き入れたり、色を変えたりできます。また、新しい画像を描画することもできます(33ページ「フィールドについて」)。

画像の加工・作成は、ペイントツールで行います。

- ペイントツールは、補助的な機能としてご利用ください。挿入する画像は、あらかじめグラフィックソフトなどで作成しておき、FA-1100に挿入するようにしてください。
- FA-1100では、複雑な画像は作成できません。
- 詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

ペイントツールを起動する・終了する

ペイントツールを使うと、新しい画像を作成できます。また、挿入してある画像フィールドに、文字を入れる・反転させる・色を変えるなどの操作を行うこともできます。

1 加工する画像フィールドをクリックする。

- 新規の画像を作成する場合は、ここでクリックせずに操作2に進みます。

2 「ツール(T)」メニューから「ペイント(P)」をクリックする。



3 画像を加工・作成する。

画像を加工・作成する方法については次の項目をご覧ください。

- [49ページ「ペイントツールのメニューバー」](#)
- [50ページ「ペイントツールのツールバー」](#)
- [51ページ「描画ツール」](#)

4 加工・作成が終了したら、「ファイル(F)」メニューから「更新(S)」をクリックする。

5 「ファイル(F)」メニューから「ペイントツールの終了(X)」をクリックする。 ペイントツールが終了して、ワークスペースに加工・作成した画像が挿入されます。

ペイントツールのメニューバー

■「ファイル(F)」メニュー

「新規作成(N)」

新しい画像を作成する。

「更新(S)」

ワークスペース上に画像を挿入または画像フィールドの内容を更新する。

「ペイントツールの終了(X)」

ペイントツールを終了する。

■「編集(E)」メニュー

「元に戻す(U)」

直前の操作を元に戻す。

「やり直し(R)」

直前の操作をやり直す。

「切り取り(T)」

指定した範囲を切り取る。

「コピー(C)」

指定した範囲をコピーする。

「貼り付け(P)」

クリップボード上のデータを貼り付ける。

「削除(A)」

指定した範囲を削除する。

■「イメージ(I)」メニュー

「上下反転(V)」

画像を上下反転させる。

「左右反転(H)」

画像を左右反転させる。

「シャープ(S)」

画像をシャープにする。

「ぼかし(B)」

画像をぼかす。

「エンボス(E)」

画像の輪郭を強調する。

「モザイク(M)」

画像にモザイクをかける。

「サイズ(Z)...」

画像のサイズを指定する。

■「カラー(C)」メニュー

「明るさ/コントラスト(B)...」

明るさとコントラストを調整する。

「ガンマ補正(G)...」

ガンマレベルの違いを補正する。

「色相/彩度/明度(H)...」

色相・彩度・明度のバランスを調整する。

「RGBカラー(R)...」

RGBの色要素を個別に調整する。

「セピアカラー(S)...」

色相と彩度を均一に変換する。

「グレイスケール(Y)」

グレイスケールの画像にする。

「色の反転(N)」

画像の色を反転する。

「色数(C)」

何色で画像を表現するか選ぶ。

■「表示(V)」メニュー

「ツールバー(T)」

ツールバーを表示/非表示にする。

「ステータスバー(S)」

ステータスバーを表示/非表示にする。

「ズームイン(I)」

表示倍率を大きくする。

「ズームアウト(O)」

表示倍率を小さくする。

■「ヘルプ(H)」メニュー

「トピックの検索(H)」

トピックの検索画面を表示する。

「バージョン情報(A)...」

ペイントツールのバージョンを表示する。

ペイントツールのツールバー

クリックすると、下記のようなことが行えます。



新規画像データを作成する。



開いているデータを更新する。



画像を上下反転させる。



画像を左右反転させる。



画像をシャープにする。



画像をぼかす。



画像の輪郭を強調する。



画像にモザイクをかける。



明るさとコントラストを調整する。



ガンマレベルの違いを補正する。



色相・彩度・明度のバランスを調整する。



RGBの色要素を個別に調整する。



色相と彩度を均一に変換する。



グレースケールの画像にする。



画像の色を反転する。

1倍



画像の表示倍率を変更する。



ヘルプトピックを表示する。



ポップヒント(「メニューコマンド」や「画面の構成要素のヒント」)を表示する。

描画ツール

クリックするとポインタの形が変わり、下記のようなことが行えます。



ドラッグすると、切り取り/コピー/削除/移動する範囲を指定できる。



- 左クリックすると拡大して表示する。
- [Ctrl]キーを押しながら左クリックすると、最大になる。
- 右クリックすると縮小して表示する。
- [Ctrl]キーを押しながら右クリックすると、最小になる。



ドラッグしたとおりに、自由に線が描ける。



ドラッグしたとおりに、画像が消せる。



- ドラッグしたとおりに、直線が描ける。
- [Shift]キーを押しながらドラッグすると、0度・45度・90度・135度・180度・225度・270度・315度の直線が描ける。



- ドラッグすると、四角形が描ける。
- [Shift]キーを押しながらドラッグすると、正方形になる。



- ドラッグすると、角が丸い四角形が描ける。
- [Shift]キーを押しながらドラッグすると、角の丸い正方形になる。



- ドラッグすると、円が描ける。
- [Shift]キーを押しながらドラッグすると、正円になる。



- クリックした位置を角とする多角形が描ける。
- ダブルクリックすると描画が終了する。
- 始点と終点を同じにすると、あとから塗りつぶすことができる。



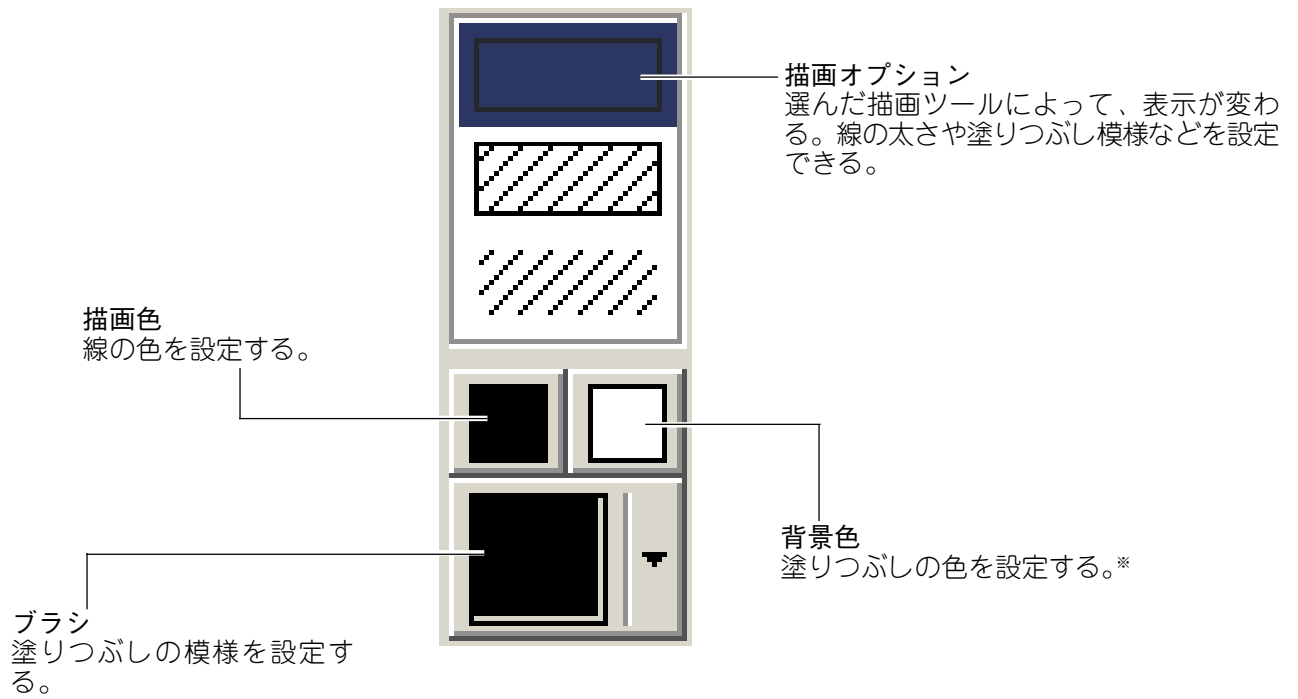
- クリックすると、文字が入られる。
- クリックした位置が先頭の文字の左上になる。



クリックすると、線で囲われた範囲を塗りつぶす。



クリックした位置の色を抽出する。



※背景色は次の操作をしたときに有効になります。

- 消しゴムを使用する。
- 「描画ツール」のペン等で右クリックしながら描画する。

画像のモノクロ化を設定する

カラーの画像データを挿入すると、データはモノクロ(1色)になり、カラーはモノクロの濃淡で表現されます。

この濃淡の表現方法を設定できます。

1 「ファイル(F)」メニューから「接続機種の設定(R)...」をクリックする。
「ネームランドのプロパティ」が表示されます。

2 「モノクロ」タブをクリックする。



3 モノクロの方法を設定する。

どのように印刷されるのか、黒文字で印刷される白いテープカートリッジをセットしている場合を例にして、説明します。

近似色 : 明るい色は白く、暗い色は黒くなります。線だけで描いたイラストや文字だけのデータを印刷するときに、向いています。

パターン : カラー写真をコピーしたときのように、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。

誤差拡散 : カラー写真をコピーしたときのように、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。「パターン」よりも印刷に時間がかかりますが、より美しく印刷されます。

4 [OK]をクリックする。

印刷すると、設定した方法でモノクロになります(ワークスペース上では、変化しません)。

画像をパネルへ登録する・削除する

画像を画像パネルに登録しておけば、何度でも繰り返し使うことができます。ここでは、「画像パネルへの画像の登録」と「画像パネルからの画像の削除」について、説明します。

よく使う画像は、画像パネルに登録することができます。また、登録した画像は、あらかじめ登録してあった画像と同じように、ドラッグするだけでレイアウトに挿入できます。

画像をパネルへ登録する

パネルに登録する画像を、あらかじめワークスペース上に挿入しておいてください。

- 1 「パネルの種類」を「画像」にする。
画像パネルが表示されます。
- 2 「パネル名」を選んで、画像を登録するパネルを表示する。
表示されたパネルに、画像は登録されます。
- 3 登録する画像を、[Alt]キーを押した状態でワークスペース上から画像パネルまでドラッグする。
- 4 登録した画像の名称を入力し、[Enter]キーを押す。
これで、画像の登録が終了しました。

画像パネルから画像を削除する

画像パネルに登録されている画像は、画像の下に表示されている名称でパソコンにファイルとして保存されています。



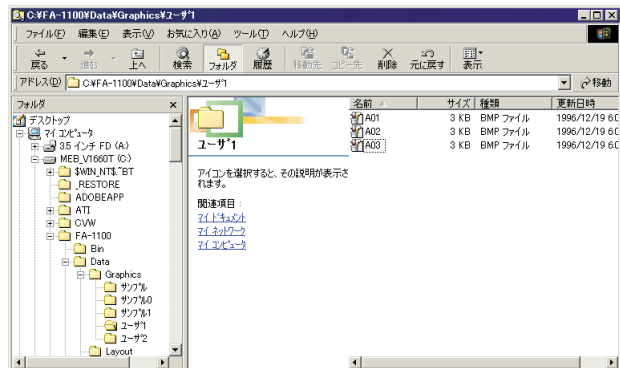
画像パネルから画像を削除するときは、パネル名のフォルダの中から画像ファイルを削除します。

1 FA-1100を終了させる。

2 エクスプローラなどで、画像を登録してあるフォルダを開く。

サンプル画像は「¥FA-1100¥DATA¥GRAPHICS¥(パネル名)」の中に登録されています。「FA-1100」よりも上のフォルダは、FA-1100をインストールしたフォルダによって異なります。

例 「ユーザ1」というパネルから削除するとき



3 削除するファイルを「ごみ箱」アイコンにドラッグする。
FA-1100を起動すると、削除した画像は表示されなくなります。

画像パネルを追加できます

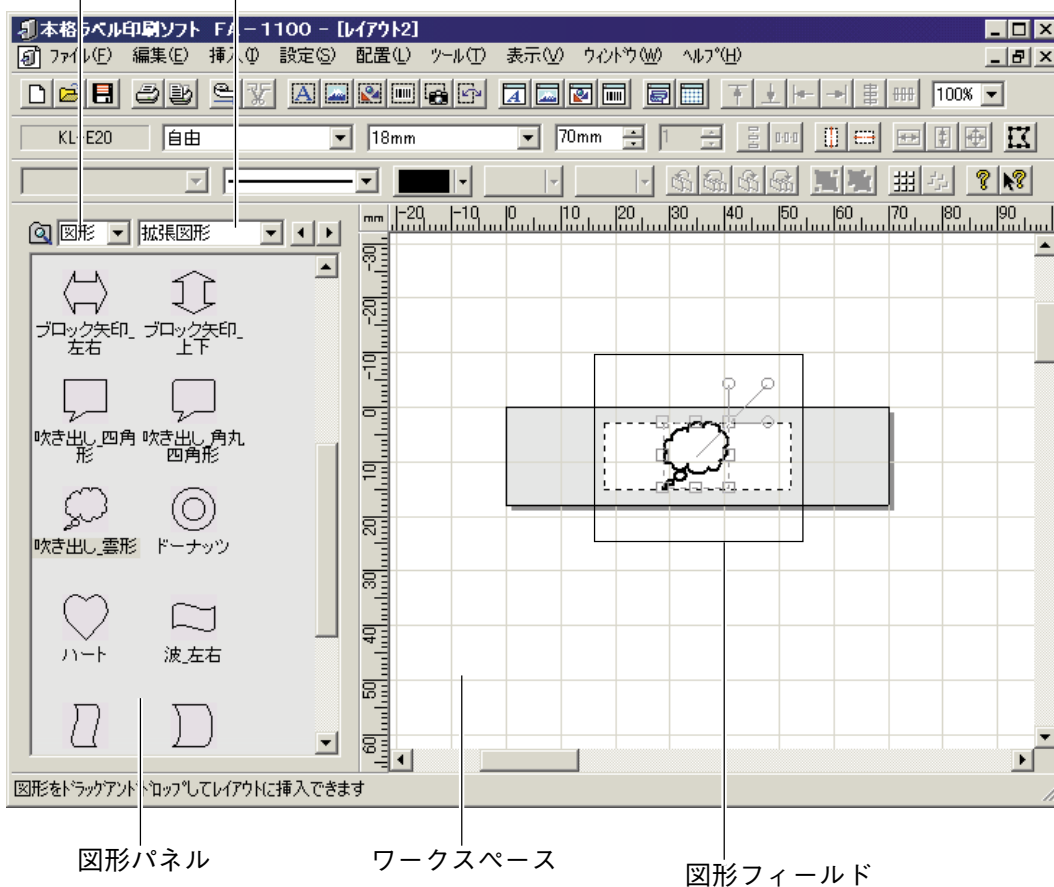
画像パネルは、ご自分で追加することもできます(オンラインヘルプをご覧ください)。この場合、画像ファイルは、ご自分で指定したフォルダ(画像パネルのフォルダ)の中に存在しています。

図形を挿入する

FA-1100には、基本的な図形があらかじめ登録されています。この図形は、簡単にレイアウトに挿入することができます。

1 「パネルの種類」を「図形」にする。

パネルの種類 パネル名




2 「パネル名」を変更して、挿入する図形を表示させる。

パネル名を変更すると、パネルに表示される図形が変更されます。

3 挿入する図形を、ワークスペースにドラッグする。

ドラッグした図形は、図形フィールドに囲まれて挿入されます。


- 下記のようにして、図形を挿入することもできます。
 1. 「挿入(I)」メニューから「図形(S)...」をクリックするか、をクリックする。
 2. 「図形の種類」を選択する。
 3. 挿入する図形をクリックする。
 4. [OK]をクリックする。

図形を差し替える・編集する

図形の差し替えのしかた・図形の線や色などの変えかた・画像フィールドのサイズと角度の調整のしかた・削除のしかたを説明します(33ページ「フィールドについて」)。


フィールド内の図形を差し替える

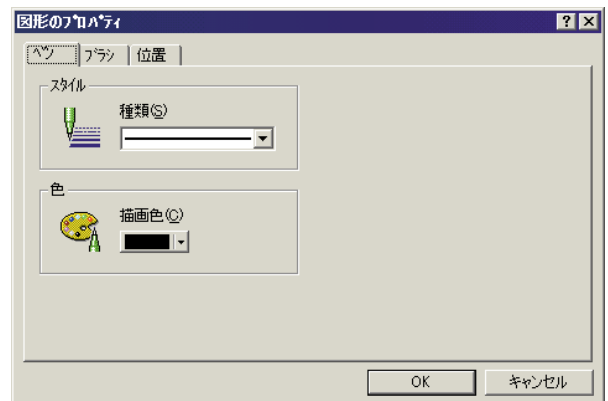
図形フィールド内の図形を、別の図形に差し替えることができます。

- 1 図形フィールドをダブルクリックするか、をクリックする。
「図形の挿入」画面が表示されます。
- 2 挿入する図形をクリックする。
- 3 [OK]をクリックする。

フィールド内の図形を編集する

挿入した図形の線の太さを変えたり色を変えたりすることができます。

- 1 編集する図形フィールドをクリックする。
 - 図形フィールドをクリックしないで編集を行うと、設定した内容は、これ以降に挿入するすべての図形フィールドに反映されます。
- 2 「設定(S)」メニューから「図形(S)...」をクリックするか、をクリックする。



- 3 各項目を設定する。
 - 重要** KL-E20、KL-E11をお使いの場合、2ドットより細かい線は設定できません。また、ブラシパターンを設定することはできません。
- 4 [OK]をクリックする。

■図形のサイズと角度を調整する

図形フィールドのサイズや角度を調整すると、フィールド内の図形のサイズや角度を調整することができます(35ページ「共通の操作」)。


図形フィールドを削除する

- 1 削除したい図形フィールドをクリックする。
- 2 [Delete]キーを押す。
図形フィールドが削除されます。

バーコードを挿入する

レイアウトにバーコードを入れる方法を説明します。

レイアウト画面が表示されていることを確認してください(18ページ「新しいレイアウトを作成する」)。

1 「挿入(I)」メニューから「バーコード(B)...」をクリックするか、もしくは  アイコンをクリックする。

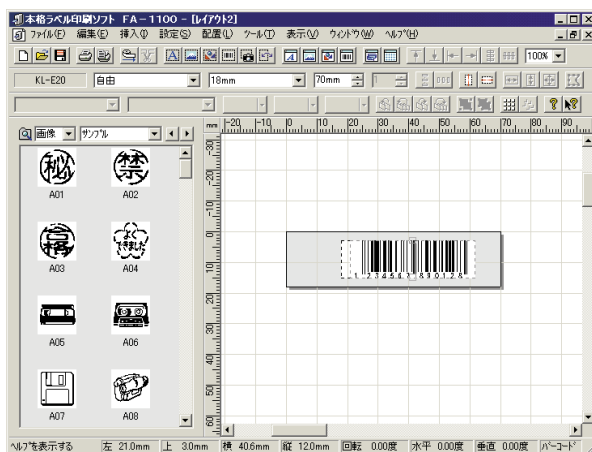


2 規格を選ぶ。

3 数字や文字を入力する。

- 「入力できる文字セット」に表示される数字や文字以外は、入力できません。
- 「桁数」に表示された値の分だけ、数字や文字を入力します。

4 [OK]をクリックする。
入力したバーコードは、バーコードフィールドに囲まれて、レイアウトに挿入されます。



バーコードの仕様

バーコード	チェック デジット ※1	印刷される 桁数 ※3	入力する 桁数 ※4	自動的につく桁数		入力文字種 ※8
					チェック デジット※1	
JAN-13 EAN-13	有	13桁	12桁	—	1桁	数字0～9
JAN-8 EAN-8	有	8桁	7桁	—	1桁	数字0～9
UPC-A	有	12桁	11桁	—	1桁	数字0～9
UPC-E	(有)※2	6桁	6桁	—	—	数字0～9
ITF	無	4～22桁	4～22桁 偶数のみ ※5	—	—	数字0～9
	有	4～22桁	3～21桁 奇数のみ ※6	—	1桁	
CODE39	無	4～22桁	2～20桁	2桁※7	—	数字0～9 アルファベット A～Z
	有	4～22桁	1～19桁	2桁※7	1桁	記号 「-」「.」「空白」 「\$」「/」「+」「%」
CODABAR	無	4～22桁	4～22桁	—	—	数字0～9 記号 「-」「\$」「:」
	有	4～22桁	3～21桁	—	1桁	「/」「.」「+」 アルファベット (先頭、末尾のみ)※9 A～D


- ※1 「チェックデジット」とは読み取り確認コードのことで、入力データより自動的に計算されます。JAN/EAN-13・JAN/EAN-8・UPC-A・ITFの“有”においては、印刷される桁数の末尾に付きます。また、CODE39の“有”・CODABARの“有”においては、印刷される桁数の末尾の1桁前に付きます。
- ※2 UPC-Eのチェックデジットの表示はされますが、バーコード下に数字として印刷されることはありません。
- ※3 バーコード下に印刷される桁数は「入力する文字数+自動的につく文字数」となります。
- ※4 この桁数に満たないときは、エラーになります。また、この桁数以上の桁数を入力することもできません。
- ※5~6 ITFは印刷される桁数が偶数でなければならないので、以下のようになります。
 - ※5 ITFのチェックデジット“無”で、入力する桁数が奇数のときは、エラーになります。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直して下さい。
 - ※6 ITFのチェックデジット“有”で、入力する桁数が偶数のときは、エラーになります。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直して下さい。
- ※7 CODE39では、スタートコード(先頭)“*”・ストップコード(末尾)“*”が固定されます。
- ※8 この文字種以外の文字が含まれて入力されているときは、エラーになります。
- ※9 CODABARでは、スタートコード(先頭)・ストップコード(末尾)は、“A・B・C・D”のいずれかを使用します。また、先頭もしくは末尾に“A・B・C・D”以外の文字が入力されているときは、エラーになります。

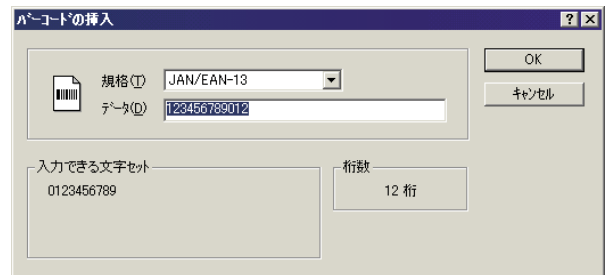
バーコードを修正・編集・削除する

バーコードフィールド内の文字や数字の修正のしかたと、バーコードフィールドの編集・サイズの調整・削除のしかたを説明します(33ページ「フィールドについて」)。

フィールド内の文字や数字を修正する

バーコードフィールド内の文字を、入力しなおすことができます。

- 1 バーコードフィールドをダブルクリックするか、をクリックする。
「バーコードの挿入」画面が表示されます。



- 2 規格を設定しなおす。
- 3 文字や数字を入力しなおす。
- 4 [OK]をクリックする。

バーコードのサイズや規格を編集する

挿入したバーコードの規格を変えたり、バーコードのサイズを変えたりすることができます。

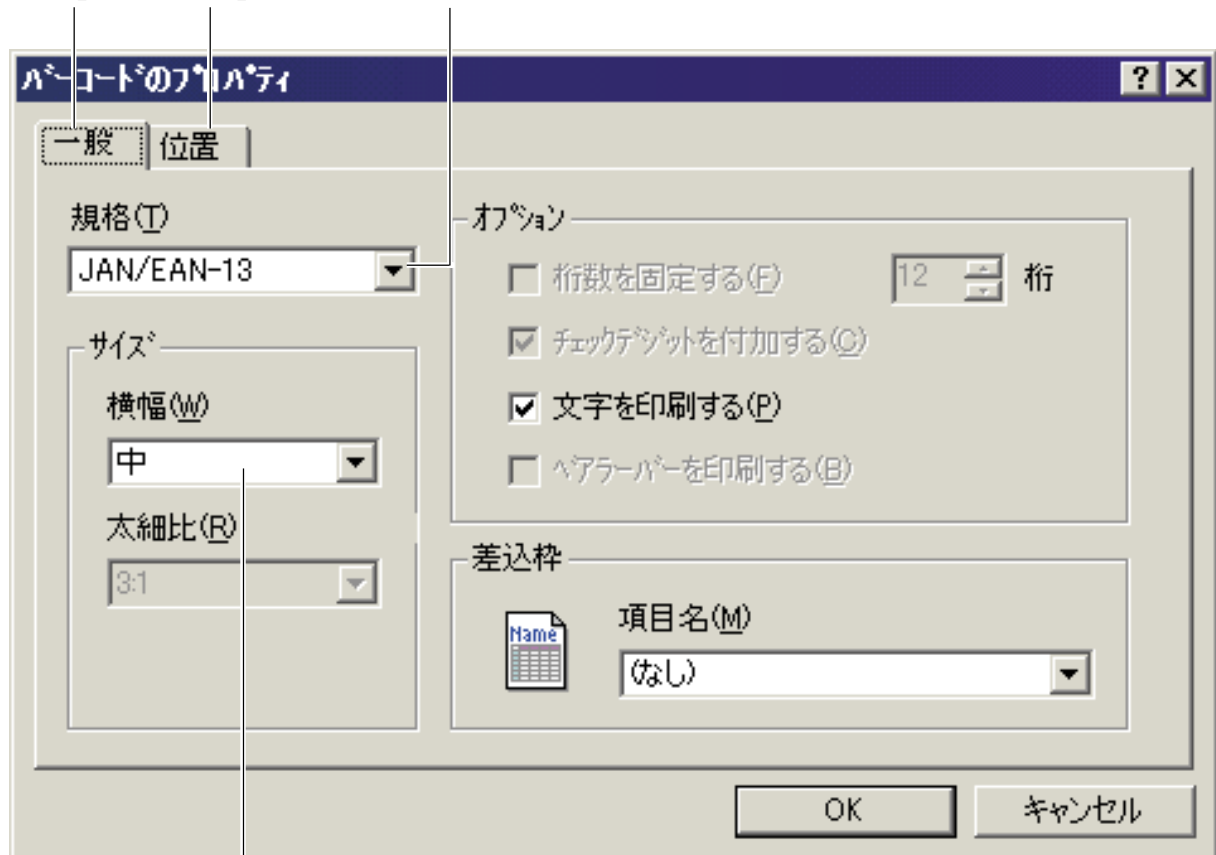
重要 ▶ バーコードフィールドは、回転できません。

- 1 編集するバーコードフィールドをクリックする。

- バーコードフィールドをクリックしないで編集を行うと、設定した内容は、これ以降に挿入するすべての文字フィールドに反映されます。

2 「設定(S)」メニューから「バーコード(B)...」をクリックするか、をクリックする。

「一般」タブ 「位置」タブ ここをクリックすると、規格を変更できます。



ここをクリックすると、バーコードの横幅を変更できます。

3 「一般」タブの各項目を設定する。

- 差込印刷をする場合には、「差込枠」の項目名ボックスで差込用データベースの項目を設定します(69ページ「差込用データベースを作成する」)。データベースのセルには、バーコードの規格に合った文字や数字を入力しておきます。

4 「位置」タブをクリックする。



5 「位置」タブの各項目を設定する。



- 左端からの距離は、「21mm以上」にしてください。
- KL-E20、KL-E11をお使いの場合、バーコード印刷できるテープの横幅(長さ)は最大100mmです。

6 [OK]をクリックする。

バーコードフィールドを削除する

1 削除したいバーコードフィールドをクリックする。

2 [Delete]キーを押す。 バーコードフィールドが削除されます。

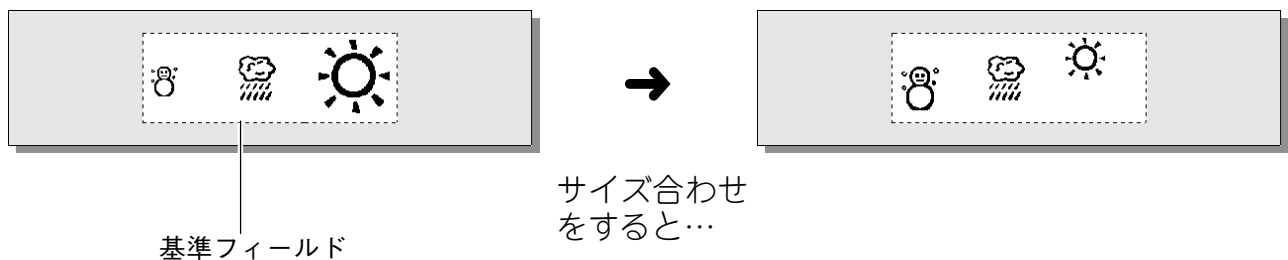
フィールドを配置する・サイズを合わせる

複数のフィールドを整列させたりサイズを同じにするなど、フィールドを揃えることができます。また、文字フィールドと画像フィールドのサイズを同じにするなど、ちがう種類のフィールドでも、揃えることができます。

フィールドの配置・サイズ合わせとは

1つのフィールドを基準にして、複数のフィールドを上下左右に整列させたり、サイズを同じにしたりできます。

例1：サイズ合わせをしたとき



例2：上に揃えて整列したとき

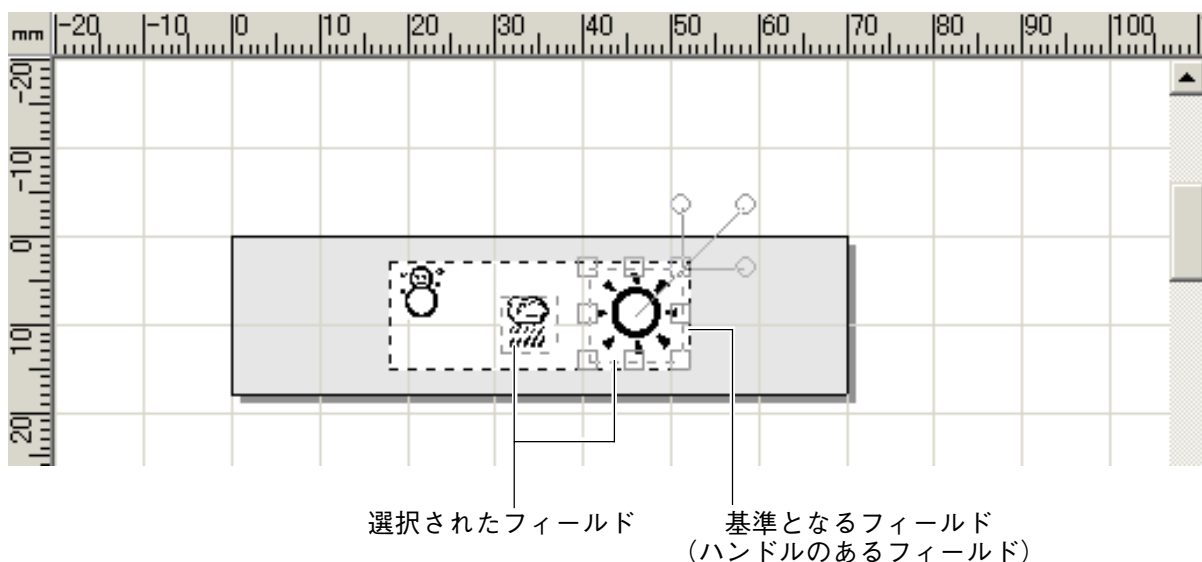


揃えるフィールドを選択する

どのフィールドを揃えるのか、最初に選択します。そのあと、揃えるときの基準となるフィールドを選択します。

- 1 揃えるフィールドをすべて囲むようにドラッグする。または、選択するフィールドを、[Shift]キーを押しながらずべてクリックする。
選択されたフィールドは、グレーの四角形で囲まれます。また、ハンドルが表示されているフィールドが、現在の基準フィールドとなっています。

重要 一部でもドラッグの外にでているフィールドは選択されません。注意してドラッグしてください。



- 2 [Ctrl]キーを押しながら、基準とするフィールドをクリックする。
クリックしたフィールドにハンドルが表示され、基準フィールドとなります。

フィールドを配置する・サイズ合わせをする

フィールドを選択したら、フィールドを揃えます。

- 1 フィールドを揃える。
「配置(L)」メニューやツールアイコンで、フィールドを揃えます(21ページ「メニューバーについて」、25ページ「ツールバー」)。

• 詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。

- 2 選択されているフィールド以外の場所をクリックする。
選択が解除されます。

差込機能について

同じフォーマットを使い、その中の文字またはバーコードだけを入れ替えながら複数枚のラベルを連続して作ることができる機能です。

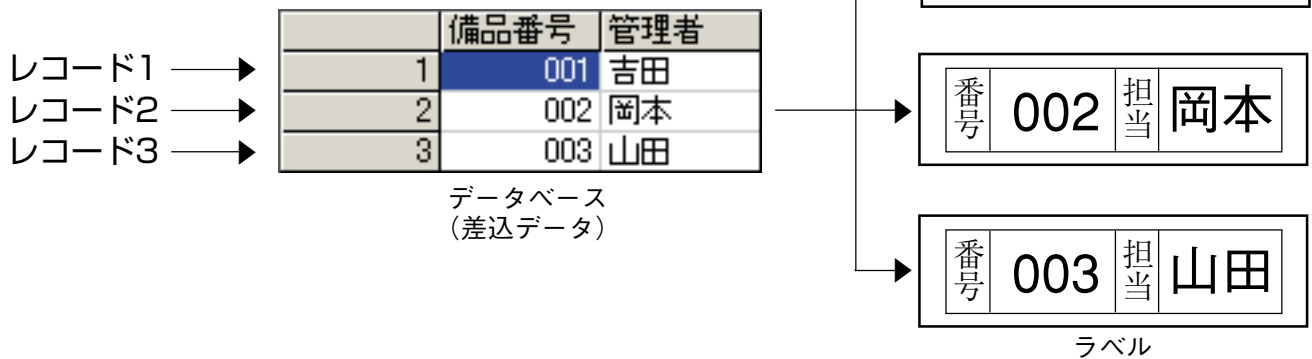
資産管理ラベルを作るときなどに便利です。

- 詳しくは、オンラインヘルプで説明しています。

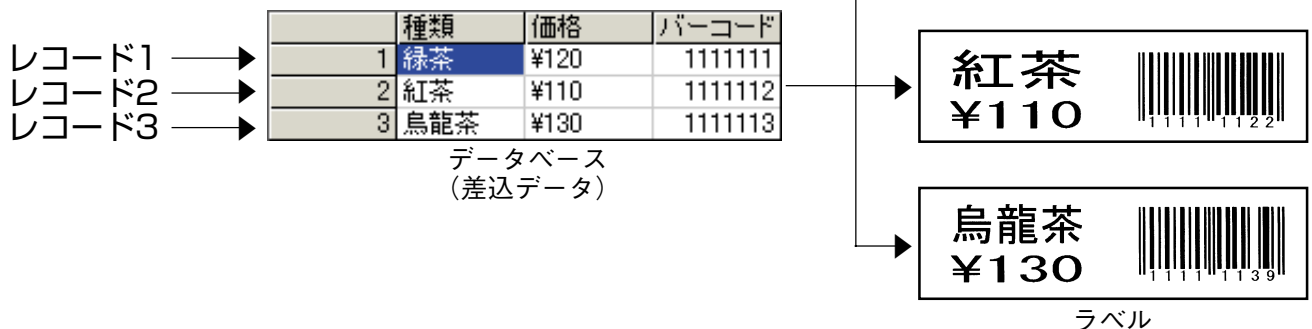
差込機能とは

データベースに登録したデータを利用して、同じフォーマットで文字またはバーコードがちがうラベルを複数枚作成する機能です。

例1



例2



操作の流れ

ここでは操作の流れを理解してください。実際の操作方法については次のページから説明しています。

① 差込データベースツールを使って、差込データを作成する。



② 印刷するラベルのフォーマットを作成する。



③ 差込データを挿入する文字フィールド／バーコードフィールドを作成する。



④ 作成したフィールドに、挿入する差込データを設定する。



⑤ 印刷する。

差込用データベースを作成する

差込機能を使うには、まず差込データベースツールを使ってデータベースを作成します。

差込データベースを作るには、「新規に差込データを作成する方法(差込データベースの新規作成)」と「他のソフトで作成したデータを利用して作成する方法(差込データベースの流用作成)」の2つがあります。

差込データベースツールを起動する・終了する

1 「ツール(T)」メニューから「差込データベース(D)」をクリックする。



2 データを作成する(71ページ「差込データベースを新規作成する」、73ページ「差込データベースを流用作成する」)。

- 3 データの作成が終了したら、「ファイル(F)」メニューから「更新(S)」をクリックする。
- 4 「ファイル(F)」メニューから「差込データベースツールの終了(X)」をクリックする。
差込データベースツールが終了します。

差込データベースツールのメニューバー

■「ファイル(F)」メニュー

- 「新規作成(N)」 新しい差込用データを作成する。
- 「更新(S)」 差込用データを更新する。
- 「インポート(I)...」 他のソフトで作成したデータを取り込む。
- 「エクスポート(E)...」 他のソフトで利用できるようにデータを保存する。
- 「差込データベースツールの終了(X)」 差込データベースツールを終了する。

■「編集(E)」メニュー

- 「元に戻す(U)」 直前の操作を元に戻す。
- 「やり直し(R)」 直前の操作をやり直す。
- 「切り取り(T)」 指定した範囲を切り取る。
- 「コピー(C)」 指定した範囲をコピーする。
- 「貼り付け(P)」 クリップボード上のデータを貼り付ける。
- 「削除(A)」 指定した範囲を削除する。
- 「行の削除(W)」 選択した行を削除する。
- 「列の削除(M)」 選択した列を削除する。

■「挿入(I)」メニュー

- 「行(R)」 空白行を挿入する。
- 「列(C)」 空白列を挿入する。

■「データ(D)」メニュー

- 「並べ替え(S)...」 データを降順/昇順に並べ替える。

■「表示(V)」メニュー











- 「ツールバー(T)」 ツールバーを表示/非表示にする。
- 「ステータスバー(S)」 ステータスバーを表示/非表示にする。

■「ヘルプ(H)」メニュー

- 「トピックの検索(H)」 トピックの検索画面を表示する。
- 「バージョン情報(A)...」 データベースツールのバージョンを表示する。


差込データベースツールのツールバー

クリックすると、下記のようなことが行えます。



-  新規データベースを作成する。
-  差込用データを更新する。
-  他のソフトで作成したデータを取り込む。
-  他のソフトで利用できるようにデータを保存する。
-  空白行を挿入する。
-  空白列を挿入する。
-  データを昇順に並べ替える。
-  データを降順に並べ替える。
-  ヘルプトピックを表示する。
-  ポップヒント(「メニューコマンド」や「画面の構成要素のヒント」)を表示する。

差込データベースを新規作成する

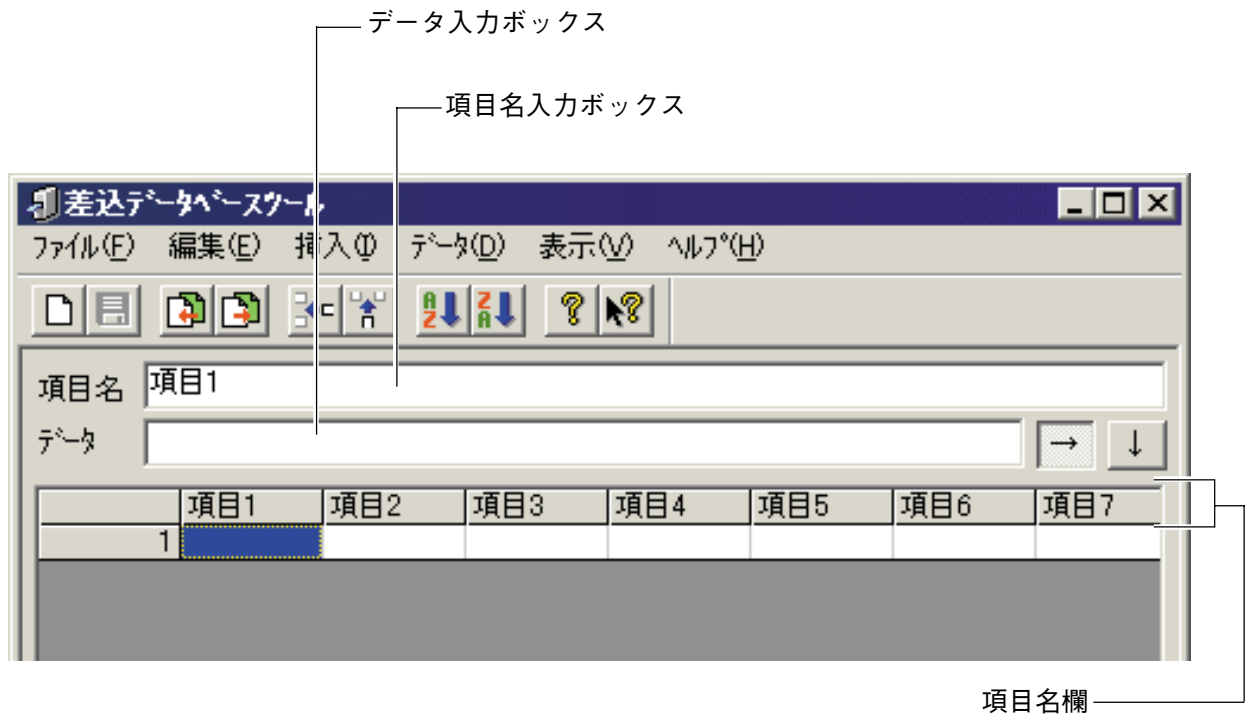
差込データベースツールで作成します。

- 1** 「ファイル(F)」メニューから「新規作成(N)」をクリックするか、 をクリックする。

• 起動時に新規の画面が表示されているときは、操作1は行わずに、操作2に進んでください。

- 2** 「挿入(I)」メニューから「行(R)」をクリックするか、 をクリックして、必要な分だけレコード入力行を増やす。
- 3** 「挿入(I)」メニューから「列(C)」をクリックするか、 をクリックして、必要な分だけ項目欄を増やす。

- 4 項目名欄(「項目1」や「項目2」など)をクリックしてから、「項目名入力ボックス」に項目名を入力する。



- 5 セルをクリックしてから、「データ入力ボックス」にデータを入力する。

重要 セルに直接入力することはできません。必ず、セルを選択した後に「データ入力ボックス」に入力してください。

- 6 操作4～5を繰り返して、必要な項目名とデータを入力する。

- 7 作成が終了したら、「ファイル(F)」メニューから「更新(S)」をクリックする。

- 8 「ファイル(F)」メニューから「差分データベースツールの終了(X)」をクリックする。

差分データベースツールが終了して、差分データベースツールを起動する前の画面に戻ります。

差込データベースを流用作成する

他のソフトで作成したデータベースを流用して、差込データベースを作成することができます。




• 流用できるデータは、下記のファイル形式のもので。

.txt .dat .csv .asc .xls

ただし、ファイル形式が「.xls」のデータは、Microsoft® Excel95/97/2000/2002で作成したものをご利用ください。

• Excelファイルを流用するには、Microsoft® Excel 95/97/2000/2002がインストールされている必要があります。

ここでは、ファイル形式が「.xls」のデータを流用する方法を説明します。

1 「ファイル(F)」メニューから「インポート(I)...」をクリックするか、をクリックする。

「データファイルを開く」画面が表示されます。

2 流用するファイル名を設定する。

3 [開く(O)]をクリックする。

「.txt」「.dat」「.csv」「.asc」のデータの場合は、「テキストデータの形式」画面が表示されます。「.xls」のデータの場合は「シートの選択」画面が表示されます(表示されないときは、操作6に進んでください)。

4 「テキストデータの形式」または「シートの選択」を設定する。

5 [OK]をクリックする。

6 差込データとして利用する範囲をドラッグして反転させる。

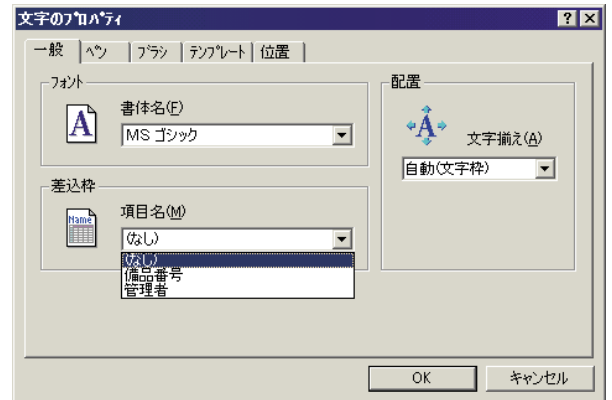
ドラッグした範囲が「セル範囲」に表示されます。



7 各項目を設定する。

- 8** [OK]をクリックする。
差込データベースが完成します。
- 9** 作成が終了したら、「ファイル(F)」メニューから「更新(S)」をクリックする。
- 10** 「ファイル(F)」メニューから「差込データベースツールの終了(X)」をクリックする。
差込データベースツールが終了して、差込データベースを起動する画面に戻ります。

- 6** 差し込む項目名をクリックする。
画面上では変化はありませんが、このあと差し込み印刷をすると、選択した項目名(列)に入力してあるデータが差し込まれるようになります。



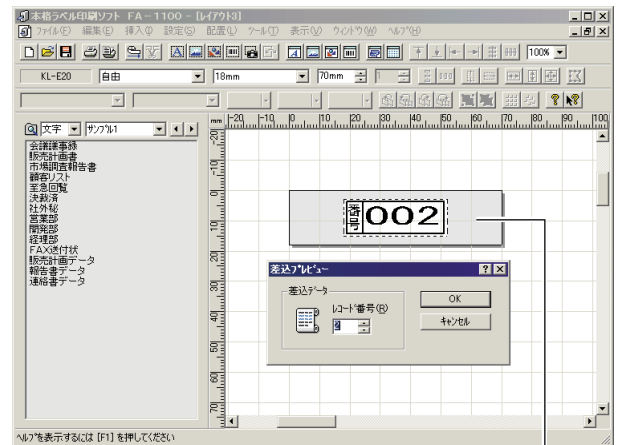
- 7** [OK]をクリックする。

差込内容を確認する

- 差し込みした内容をレイアウトに実際に差し込んだ状態にして、画面で確認することができます。
- あらかじめ、差込設定をしておいてください(75ページ「フィールドを差込設定する」)。

1 「ファイル(F)」メニューから「差込プレビュー(G)...」をクリックする。

2 何番目のレコードを表示するのか、レコード番号ボックスに入力する。指定したレコードの内容が、差込用の文字フィールドに表示されます。レコード番号の変更に合わせて、表示は変わります。



差込用の文字フィールド

3 [キャンセル]をクリックする。差込プレビューを実行する前の状態に戻ります。

- [OK]をクリックすると、指定したレコードの内容がレイアウトに差し込まれて表示されます。このとき、差込プレビューを実行する前の状態に戻すことはできません。
- 特定のレコードが差し込まれている状態で印刷すると、そのレコードだけを印刷することができます(79ページ「印刷する」)。

印刷するときの注意事項

印刷するときは、ここに記載されていることに注意して行ってください。

- あらかじめパソコンとネームランドPCが接続されていることを確認してください。また、印刷する前に文字や図形が印刷範囲からはみ出していないか、設定したテープとネームランドPCにセットされているテープとが揃っているかを確認してください(17ページ「接続機種を設定する」、18ページ「新しいレイアウトを作成する」)。
- どのように印刷されるのか詳しく確認したいときは、400%表示にすると便利です(ズーム機能をお使いください)。
- お使いのテープカートリッジによっては、接続しているネームランドPCでの濃度設定が必要な場合があります。くわしくは、テープカートリッジの注意書きを参照してください。
- KL-A50Eをお使いの場合、印刷が濃すぎるときはKL-A50Eで濃度が薄くなるように設定します。くわしくは、KL-A50Eの取扱説明書をご覧ください。



- FA-B30とFA-1100で、同時に印刷を行わないでください。正常な印刷結果が得られない場合があります。
- KL-E20、KL-E11をお使いの場合、印刷できるテープの横幅(長さ)は最大300mmです。

KL-E11から印刷する際のご注意


- ご使用になるテープ幅以上の印刷幅で、長い印刷を行ったり、連続して印刷を行うと、鮮明な印刷ができなかったり、テープがつまる恐れがあるなど、故障の原因となる場合があります。

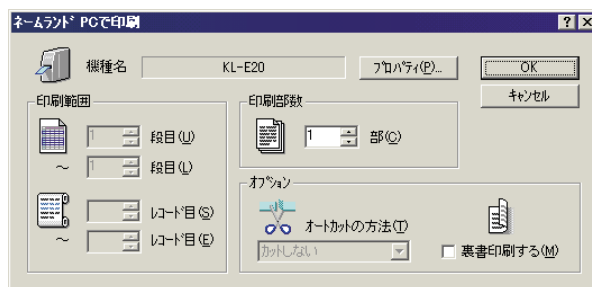
ご使用になるテープ幅未満の印字幅で印刷することをおすすめいたします。

印刷する

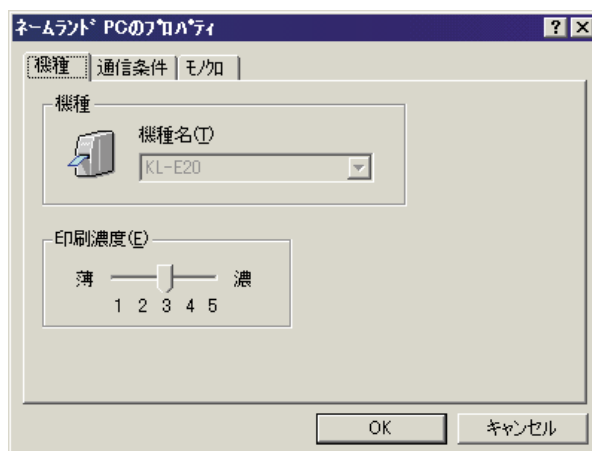
作成したレイアウトを、本機で印刷、差込印刷をしましょう。
また、テープ送りとテープカットも、パソコンから行えます。

印刷する

- 1 「ファイル(F)」メニューから「ネームランドPCで印刷(P)...」をクリックするか、をクリックする。



- 2 各項目を設定する。
- 3 [プロパティ(P)...]をクリックする。



- 4 各項目を設定する。
印刷濃度は、通常は設定を変更する必要はありません。実際に印刷した結果、文字や図形がかすれていたり濃すぎていたときのみ変更してください。

• KL-A50Eをお使いのときは、印刷濃度はKL-A50Eで設定してください。

- 5 [OK]をクリックする。
- 6 部数やオプションなどを設定する。
- 7 ネームランドPCとパソコンを接続する。

• 本体の取扱説明書をご覧ください。

8 [OK]をクリックする。

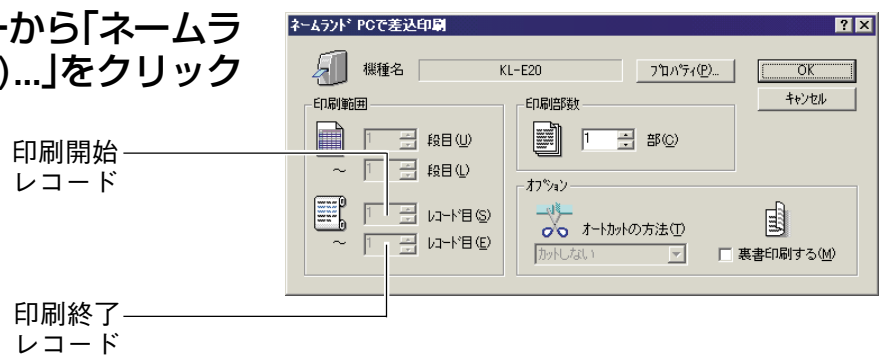
印刷が始まります。

- 印刷を中止するときは、印刷スプーラの画面で中止したい名称を右クリックし、[印刷中止]をクリックします。
- 拡大印刷したときは、テープを組み合わせせて貼ってください(87ページ「テープカートリッジの幅以上のラベルを作成するときは」)。
- KL-A50E/KL-S30から印刷したときは、印刷を確認するウィンドウが表示されます。

差込印刷する

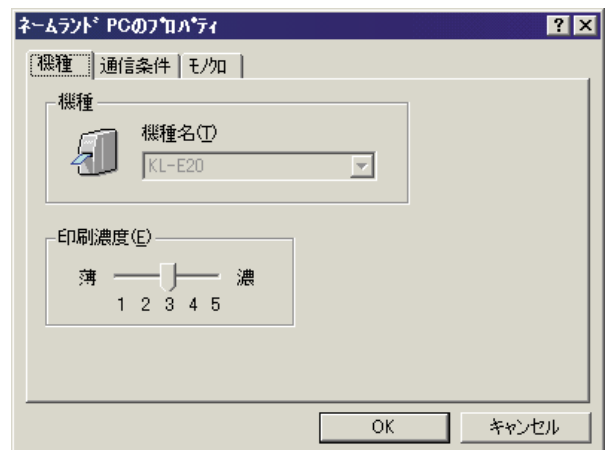
差込機能については、67ページ「差込機能について」をご覧ください。

1 「ファイル(F)」メニューから「ネームランドPCで差込印刷(M)...」をクリックする。



2 各項目を設定する。

3 [プロパティ(P)...]をクリックする。



4 各項目を設定する。

5 [OK]をクリックする。

6 部数やオプションなどを設定する。

7 ネームランドPCとパソコンを接続する。

- 本体の取扱説明書をご覧ください。

8 [OK]をクリックする。 印刷が始まります。

- 印刷を中止するときは、印刷スプーラの画面で中止したい名称を右クリックし、[印刷中止]をクリックします。
- 登録してあるレコードの中の1つだけを印刷したいときは、次のように行います。
 - ① 差込プレビューを使って印刷するレコードをレイアウト画面に表示し、文字フィールドに実際に文字を差し込む。
 - ② 通常の印刷を行う(79ページ「印刷する」)。
また、80ページの操作1の表示画面で、印刷するレコードを「印刷開始レコード」と「印刷終了レコード」の両方に設定しても、1つだけのレコードが印刷されます。
- KL-A50E/ KL-S30から印刷したときは、印刷を確認するウィンドウが表示されます。

テープ送りをする・テープをカットする

パソコンからでも行えます。

1 ツールアイコンをクリックする。



をクリックすると、テープが送られます。



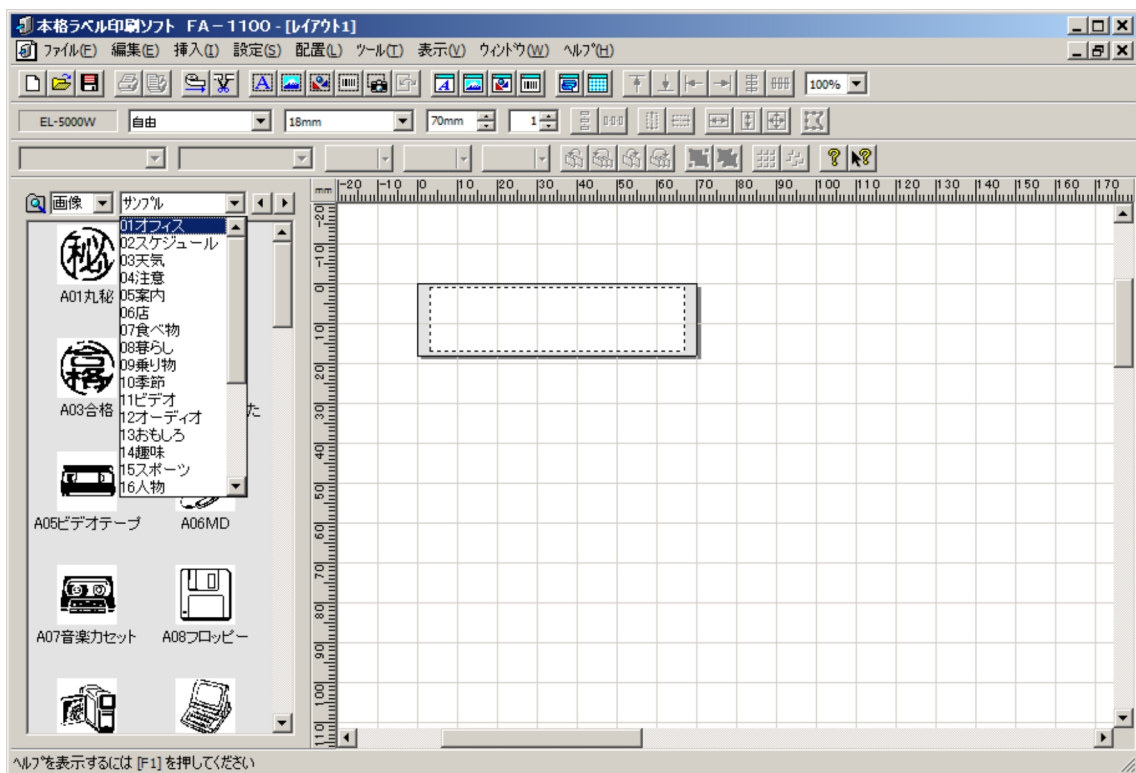
をクリックすると、テープがカットされます。

内蔵画像ライブラリー一覧

FA-1100には、サンプル・サンプル大のほか、以下のジャンルごとに画像データが内蔵されています(全部で1099種)。

01	オフィス	02	スケジュール	03	天気	04	注意
05	案内	06	店	07	食べ物	08	暮らし
09	乗り物	10	季節	11	ビデオ	12	オーディオ
13	おもしろ	14	趣味	15	スポーツ	16	人物
17	生き物	18	干支	19	星座		
スタンプ		ロゴ		枠			

上記ジャンルの画像を呼び出すには、FA-1100のビューアパネルの種類を「画像」にして、パネル名リストを表示させて各ジャンルを選択します。



※詳しくは、43ページの「画像を挿入する」をご覧ください。

数字フォント一覧

FA-1100には、10種類のTrue Typeフォント(数字と一部の記号のみ)が付属されています*。
 必要な場合は、FA-1100をインストールするときにこれらのフォントもインストールしてください。

Kanaface Cotton	01234567890.,-¥
Kanaface Fantasy	01234567890.,-¥
Kanaface Floral	01234567890.,-¥
Kanaface Garden	01234567890.,-¥
Kanaface Grandprix	01234567890.,-¥
Kanaface Melody	01234567890.,-¥
Kanaface October	01234567890.,-¥
Kanaface Shade	01234567890.,-¥
Kanaface Square	01234567890.,-¥
Kanaface White bear	01234567890.,-¥

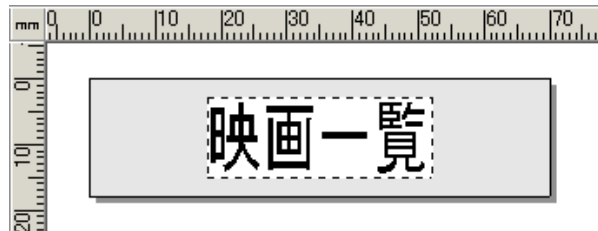
* これらの数字フォントは、株式会社シーアンドジイが著作権を保有する「カナフェイス」の中の文字を使用しています。

ラベル作成のヒント

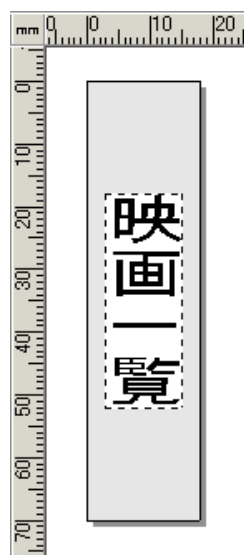
縦書きラベルを作成するときは

縦書きラベルの作成には、次の2つの方法があります。

1. ラベルのプロパティの設定で「ラベルの方向」を「横」に設定し、縦書きフォントを使って文字フィールドを作成します。縦書きフォントはフォント名の先頭に@が付きます。右記の画面では@MSゴシックを使用しています。ただし、半角文字は使えません。



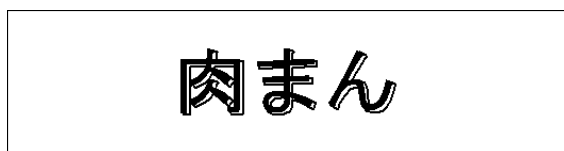
2. ラベルのプロパティの設定で「ラベルの方向」を「縦」に設定し、縦書きフォントを使って文字フィールドを作成します。縦書きフォントはフォント名の先頭に@が付きます。右記の画面では@MSゴシックを使用しています。ただし、半角文字は使えません。そのあと、文字フィールドを回転ハンドル(35ページ「共通の操作」)で回転して、下記の画面のようにします。縦書きの作成はこの方法でイメージと同じ編集ができます。




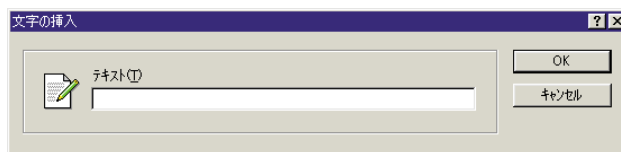
フィールドを編集していろいろなラベルを作成するときは

フィールドを工夫して組み合わせると、こんなラベルが作れます。

例 文字フィールドを二つ使って、立体感のある文字にします。



1. 新しいレイアウトを開き、をクリックする。



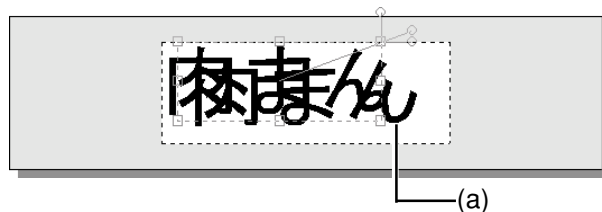
2. 「肉まん」を入力し、[OK]をクリックする。




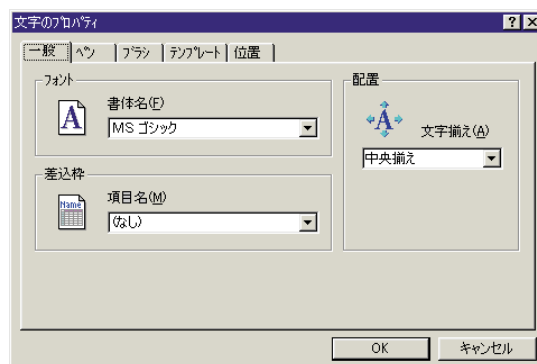
3. 文字フィールドのハンドルが表示されている状態で、[Ctrl]+[C]を押してコピーする。
フィールドがコピーされます。

4. [Ctrl]+[V]を押してペーストする。

5. 前面にある文字フィールドをドラッグして、
位置をずらす。

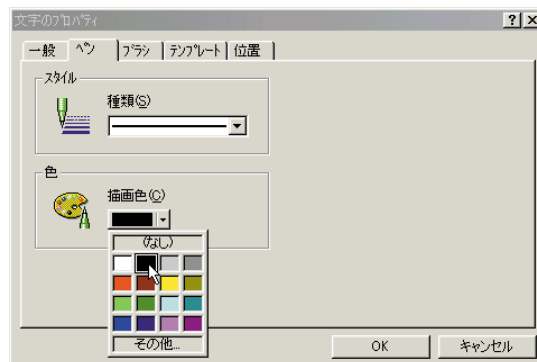


6. (a)の文字フィールドを選択し、をクリックする(または、右クリックして「フィールドのプロパティ」を選択する)。



7. 「ペン」タブをクリックする。

8. 「描画色(C)」を黒に設定する。



9. 「ブラシ」タブをクリックする。

10. 「べた」の「開始色(S)」を白に設定する。

11. [OK]をクリックする。



12. (b)の文字フィールドをドラッグして、白抜きした文字に重ねる。

黒文字を右斜め上に配置した場合



黒文字を左斜め下に配置した場合



テープカートリッジの幅以上のラベルを作成するときは

ラベルを貼り合わせれば、セットしてあるテープカートリッジの幅よりも大きいラベルを作ることができます。

例 12mmテープカートリッジを使って、下のようなテープを作成する

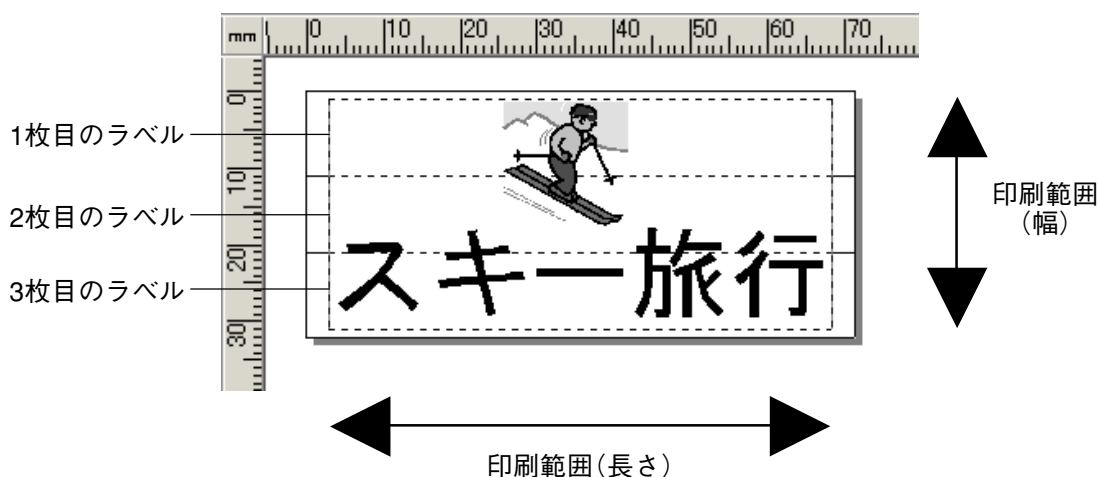


1. 「ラベルのプロパティ」画面で、ラベル幅を「12mm」に、分割枚数を「3枚」に設定します（18ページ「新しいレイアウトを作成する」）。

重要

- KL-E20、KL-E11では、この機能は使用できません。
- 拡大できるテープの幅は機種によって異なります。本体で拡大できるテープ幅のみ使用できます。
- 印刷範囲（幅）が600mmを超えないように、分割枚数を設定してください。

2. テープの内容を作成します。



3. 印刷します。

ラベルが3枚印刷されます。組み合わせて貼ると、**例** のようなラベルができあがります。

印刷時のトラブルについて

印刷を行ってもテープが出てこない

- テープ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない
カバーをしっかりと閉めてください。
→本体の取扱説明書を参照
 - テープが終了している
新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。
→本体の取扱説明書を参照
 - テープがつまっている
ACアダプターをはずしてからテープカートリッジを取り出して、つまったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、テープカートリッジを正しくセットしなおします。つづいてACアダプターを接続します。
- 重要**▶ 印刷中に、次のようなことはしないでください。
- ・ テープ出口をふさぐ
 - ・ 出てくるテープにさわる
 - ・ テープ収納部のカバーをあける
 - ・ ACアダプターを外す
 - ・ USBケーブルを外す
- 本体の取扱説明書を参照
- クラフトシールがセットされていない(クラフトシールはEL-5000W、EL-700、KL-A50E、KL-S30で使用できます。*)
クラフトシールをセットしてください。
→95ページ「クラフトシール用カートリッジをセットする」

※2002年5月現在

印刷を行ったときにテープは出てくるが、何も印刷されない

- 「空白」だけが入力されている
印刷したい文章を入力してください。

印刷が不鮮明

- 印刷濃度の設定が適切でない
設定を変更してください。
→79ページ「印刷する」
- テープカートリッジが正しくセットされていない
正しくセットしなおしてください。
→本体の取扱説明書を参照
- プリンターヘッドやゴムローラーが汚れている
プリンターヘッドやゴムローラーをクリーニングしてください。
→本体の取扱説明書を参照

一部が欠けて印刷される

→93ページ「印刷内容の一部が欠けたときは」

インクリボンがテープといっしょにテープ出口から出てきた

- インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした
テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確認し、正しく
セットしなおしてください。
→本体の取扱説明書を参照
- 重要** →
- テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみをとってください。
 - インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。

テープが切れない

- **テープがつまっている**
テープカートリッジを取り出し、つまっているラベルを取り除いてください。
→本体の取扱説明書を参照
- **テープカッターが磨耗している**
カシオテクノ・サービスステーションに連絡してください。
→本体の取扱説明書を参照。
- **クラフトシールを使用している(クラフトシールはEL-5000W、EL-700、KL-A50E、KL-S30で使用できます。*)**
クラフトシールを使っているときは、テープカットはできません。
- **印刷するときに、「カットしない」を選んでいる**
「カットしない」以外を選んでください。
- **ラベルの長さが短い(「余白小」で約26mm以下/「余白中」で約33mm以下、「余白大」で約43mm以下)**
印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。


※2002年5月現在

印刷が途中で止まる

- **プリンターヘッドが加熱している**
印刷時にはプリンターヘッドが熱くなります。たくさんのテープを続けて印刷したり黒い部分が多いテープを印刷したときなど、プリンターヘッドが熱くなりすぎないように印刷を中断することがあります。しばらくすると自動的に印刷が再開されます。そのままお待ちください。
- **ネームランド/プリンタ本体にセットしてある電池が消費している**
印刷時には、通常よりも多くの電力を必要とします。このため、ネームランド/プリンタの電源が入っていても、印刷を行うと停止することがあります。
新しい電池に交換するか、ACアダプターを接続してご使用ください。

ハーフカットができない

ハーフカットはEL-5000W、EL-700、KL-A50E、KL-S30で対応しています。*

- **ハーフカッターが磨耗している**
カシオテクノ・サービスステーションに連絡してください。
→本体の取扱説明書をご覧ください。
 - **「オートカットの方法(T)」を、「カットしない」に設定している**
「オートカットの方法(T)」を「ハーフカット・オートカット」に設定してください。
-  **重要** ・テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみをとってください。
・反射テープやマグネットテープなどの特殊なテープはハーフカットできません。

※2002年5月現在

テープが貼れない

- 裏紙をはがしていない

裏紙をはがしてから貼ってください。

→本体の取扱説明書を参照

- 貼る場所やものが適していない

適している場所やものに貼ってください。

→本体の取扱説明書を参照

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	対処方法
接続されているデバイスがないか、接続されている機種と機種設定の内容が違いますまたはデータリンクの確立エラー	パソコンとプリンタが接続されていることを確認してください。または、プロパティの機種設定で指定したプリンタが接続されていることを確認してください。確認後、もう一度印刷を実行してください。
装着テープの確認エラー	プリンタに装着されているテープのサイズを確認してください。確認後、もう一度印刷を実行してください。
カット状態の設定エラー	プリンタに装着されているテープがマグネットテープです。マグネットテープは、本体のカッターではカットできません。プロパティの機種設定か印刷設定で「オートカットの方法」を、「カットしない」にしてください。
テープがないか、テープ幅(種類)が違うか、テープ詰まりが発生しています	プリンタ内にテープが詰まっていないか、テープの幅・種類が合っているか、テープが終了していないか確認してください。テープが詰まっている場合は、 88ページの「印刷時のトラブルについて」 を参照して対処してください。
プリンタが使用中です。別アプリケーションからの印刷が済んでから、もう一度印刷を実行してください	同じプリンタに対してFA-B30とFA-1100が同時に印刷を行うことはできません。片方の印刷が終了してから印刷を実行してください。
印刷中にエラーが発生しました。(イメージデータの転送エラー)	ACアダプターが正しく接続されているか、ネームランド/プリンタにセットしてある電池が消耗していないかを確認してください。確認または電池交換後、再度印刷を行ってください。
実行するためのメモリが不足しています	現在作業中以外のソフトを閉じてください。また、現在実行中以外のウィンドウを閉じてください。
このプログラムにはExcel95/97/2000/2002が必要ですが、このシステム上に見つかりませんでした	XLS形式のファイルを読み込むために、Excel95またはExcel97/2000/2002をインストールしてください。ただし、XLS形式に保存したバージョンを読み込めるExcelをインストールしてください。
プリンタの電源が消耗しています印刷を続行しますか	「はい」ボタンを押して印刷を行うこともできますが、一度に印刷するテープが長かったり枚数が多いときには印刷の途中でプリンタの電源が切れることがあります。プリンタにセットしてある電池を交換するか、ACアダプターを接続して印刷を行ってください。

作成時のトラブルについて

●印刷内容の一部が欠けたときは

文字フィールドをマウスドラッグによりサイズ変更した場合、画面上では正しく表示されているにもかかわらず、印刷すると内容の一部が欠けてしまうという現象がまれに発生することがあります。

この場合、文字フィールドのサイズを少し変更してください。

サイズを変更しても欠けてしまうときは、「設定(S)」メニューの「文字(T)...」をクリックして「配置」の「文字揃え(A)」を「自動(文字幅)」に設定し、印刷してください。

上記の操作を行っても文字が欠ける場合は、文字のサイズを変更(小さくする)してみてください。また、文字列の端が欠ける場合には、端の部分に空白を入れると端が欠けずに印刷が行えることがあります。

また、実際に印刷されるイメージは印刷プレビューの画面で確認することができます。

●ビットマップや他の画像ファイルの読み込み時、または、印刷実行時にメモリ不足になったときは

FA-1100で、画像フィールドにビットマップなどの画像ファイルを読み込もうとしたり、画像フィールドが登録されているレイアウトを印刷しようとするときに「実行するためのメモリが不足しています」とメッセージが表示されることがあります。

この現象には2つの原因が考えられます。

第一の原因としては、メモリが不足していることが考えられます。この場合は、他の実行中のプログラムを終了してからもう一度実行してみてください。

第二の原因としては、Windowsのディスプレイドライバの問題が考えられます。ほとんどのディスプレイドライバの最新版は、この問題を解決しているようですので詳細につきましては、お使いのパソコンメーカーにお問い合わせください。

●読み込んだカラービットマップなどの画像が、印刷したときに黒くつぶれてしまうときは「ビットマップの輝度が低い」ことが考えられます。

FA-1100の「ペイント」または「ペイント系のソフト」で輝度も高い方向に調整してください。

または2値化(色数 2色)して画像がつぶれないように調整してください。つぶれの度合いが少なくなることがあります。

ファンシーテープとクラフトシール

次の機種をお使いになっているときは、別売のファンシーテープに印刷することができます。

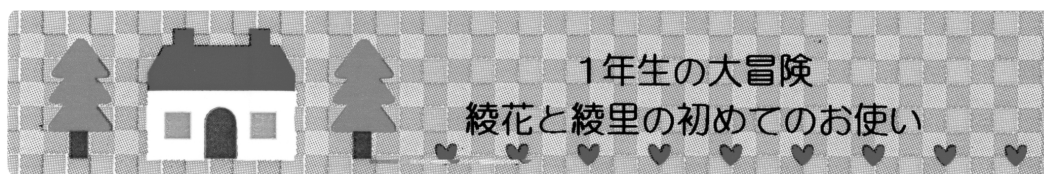
・EL-5000W ・EL-700 ・KL-A50E ・KL-S30 (2002年5月現在)

また、お使いの機種に同梱のクラフトシール用カートリッジを使って、カラフルにデザインされたシール(クラフトシール)に印刷することができます。

テープカートリッジをセットする

■ファンシーテープカートリッジをセットする

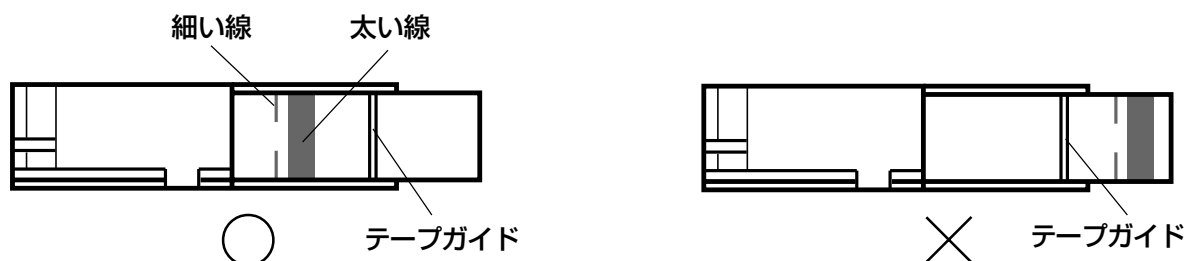
印字例



ファンシーテープカートリッジは別売です。

1 ファンシーテープのマーカを合わせる。

重要 ファンシーテープカートリッジを本体にセットするときは、テープ裏面のマーカがテープガイドの外側にならないようにしてください。
テープガイドの外側にマーカがあると、一枚目には何も印刷されません。



2 ファンシーテープカートリッジを本体のネームランド用プリンタにセットする。

本体の取扱説明書をご覧ください。

■クラフトシール用カートリッジをセットする

印字例



(隠し撮り: パパ)

綾里とポチ、おばあちゃん家まで二人だけの大冒険!

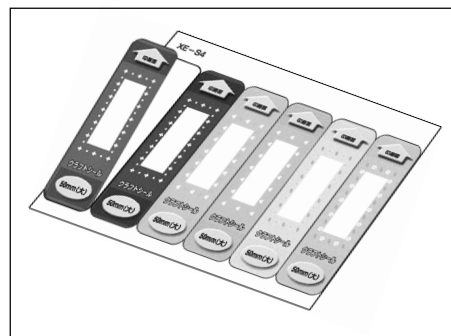


クラフトシールは別売です。

1 クラフトシールを、1枚だけ切りはなす。

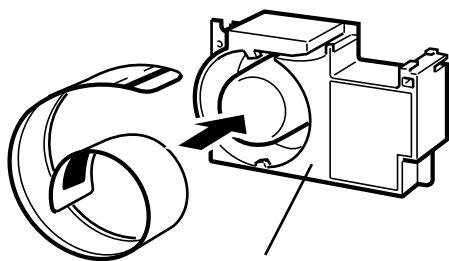


シールのつなぎ目に紙が残ると印刷するときに引っかかることがあります。ハサミなどできれいに取ってからご使用ください。

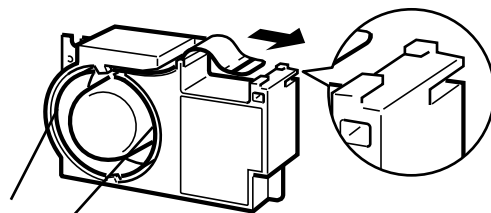


2 クラフトシール用カートリッジに、切りはなしたクラフトシールをセットする。

クラフトシールを、印刷面が内側になるようにセットします。



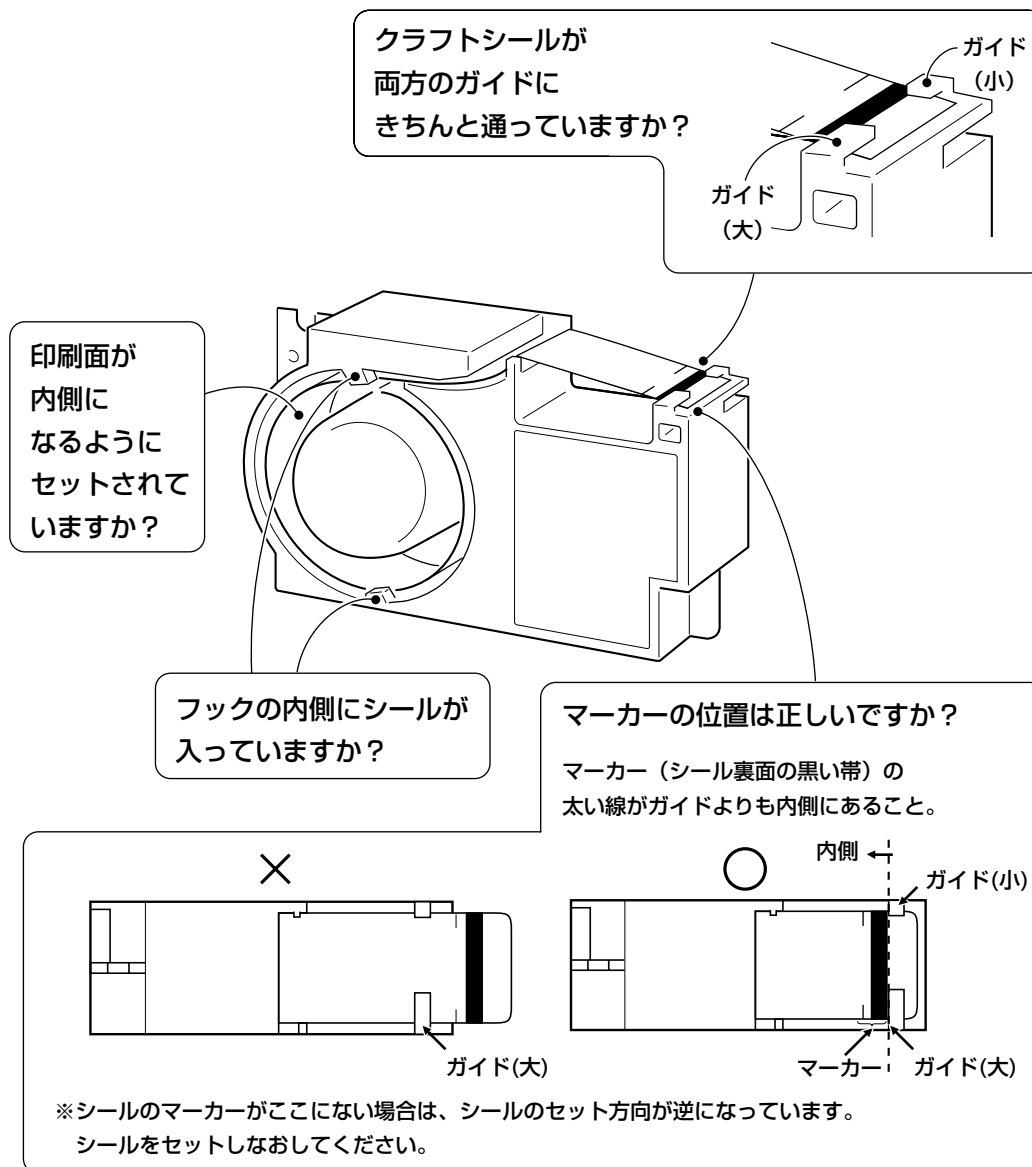
クラフトシール用
カートリッジ



フックの内側に
シールを入れます

クラフトシール用
カートリッジのガイドに
シールを通します

クラフトシールをクラフトシール用カートリッジにセットするときは、下記の点を確認してください。

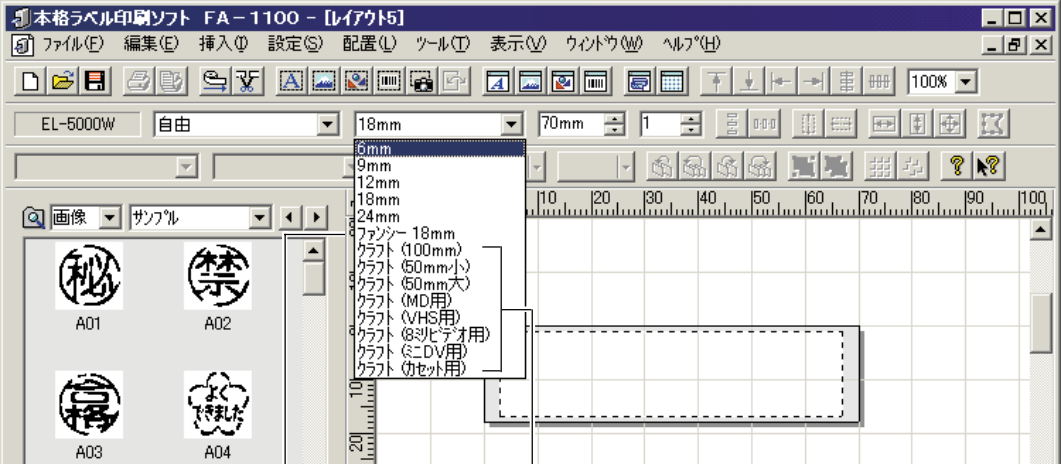


3 クラフトシール用カートリッジを本体のネームランドテープ用プリンタに セットする。

本体の取扱説明書をご覧ください。

ラベルを作成する

それぞれのカートリッジに適したラベル幅を選択してください。



ファンシーテープカートリッジをセットしたときは、これを選択

クラフトシール用カートリッジをセットしたときは、ここから選択

- ラベルのプロパティ画面から選択することもできます。